

平成 2 年版

数字で見る図書館活動

調布市立図書館

図書館の自由に関する宣言

図書館は、基本的人権のひとつとして知る自由をもつ国民に、資料と施設を提供することを、もっとも重要な任務とする。

この任務を果たすため、図書館は次のことを確認し実践する。

- 第1 図書館は資料収集の自由を有する。
- 第2 図書館は資料提供の自由を有する。
- 第3 図書館は利用者の秘密を守る。
- 第4 図書館はすべての検閲に反対する。

図書館の自由が侵されるとき、われわれは団結して、あくまで自由を守る。

社団法人 日本図書館協会

(1979年5月30日総会決議 (改訂) 主文)

図書館員の倫理綱領

この倫理綱領は、「図書館の自由に関する宣言」によって示された図書館の社会的責任を自覚し、自らの職責を遂行していくための図書館員としての自律的規範である。

(図書館員の基本的態度)

第1 図書館員は、社会の期待と利用者の要求を基本的なよりどころとして職務を遂行する。

(利用者に対する責任)

第2 図書館員は利用者を差別しない。

第3 図書館員は利用者の秘密を漏らさない。

(資料に関する責任)

第4 図書館員は図書館の自由を守り、資料の収集、保存および提供につとめる。

第5 図書館員は常に資料を知ることにつとめる。

(研修につとめる責任)

第6 図書館員は個人的、集団的に、不断の研修につとめる。

(組織体の一員として)

第7 図書館員は、自館の運営方針や奉仕計画の策定に積極的に参画する。

第8 図書館員は、相互の協力を密にして、集団としての専門的能力の向上につとめる。

第9 図書館員は、図書館奉仕のため適正な労働条件の確保につとめる。

(図書館間の協力)

第10 図書館員は図書館間の理解と協力につとめる。

(文化創造への寄与)

第11 図書館員は住民や他団体とも協力して、社会の文化環境の醸成につとめる。

第12 図書館員は、読者の立場に立って出版文化の発展に寄与するようつとめる。

日本図書館協会は、わが国の図書館の現状にかんがみこの倫理綱領を作成し、提唱する。本協会はこの綱領の維持発展につとめると共に、この綱領と相いれない事態に対しては、その改善に向けて不断に努力する。

社団法人 日本図書館協会

(1980年6月4日総会決議)

平成 2 年版

数字で見る図書館活動

目 次

I 調布市の概況	1
1 人口	1
2 予 算	4
II 図書館の概況	9
1 運営方針	9
2 平成元年度 図書館活動	9
3 施設概況	11
4 図書館配置図	12
III 各館の概要	13
IV 各館の事業	19
1 子ども対象の事業	19
2 成人対象の事業	22
V 蔵書の状況	23
VI 利用の状況	27
1 登 録	27
2 市内小中学生の登録状況	36
3 貸 出	43
VII ハンディキャップサービス	48
1 朗読サービス	48
2 点訳サービス	51
3 大型活字本・拡大写本サービス	51
4 子どもへのサービス	51
5 PR活動	52
6 ボランティアの養成とボランティアグループ	52

VIII 集会・学習活動	53
1 集会・学習活動の状況	53
2 行 事	53
3 第18回図書館まつり	55
4 調布ブッククラブ	56
5 地域文庫	63
IX 視聴覚ライブラリー	64
1 事 業	64
2 視聴覚教材・機材の利用状況	65
X 将来計画と新中央図書館構想	68
XI 資 料	71
1 運営組織	71
2 分掌事務	71
3 開館日と休館日	72
4 開館日数と開館時間	72
5 組 織 図	73
6 年度別職員数の推移	73
XII 年 表	74

I 調布市の概況

昭和30年4月、調布町と神代町が合併して調布市が誕生した。

この地域では、多摩川の清流を利用して、昔から布づくりが盛んに行われていた。この布は税である調として、朝廷に納められ、調布（たつくり）の名で呼ばれた。調布の名称はこのように布の産地であったことと、律令制度による調として布が納められたことに由来している。

調布市は、東京都のほぼ中央部、多摩地区の南東部に位置し、都心部へ約24kmの距離にある。市域の広がり、東西7km、南北5.7km、面積21.51km²（暫定）で、東京都全体の約1%にあたる。市の東西方向には京王線と甲州街道が走り、ほぼ北東から西南にかけては中央自動車道が横断している。副都心新宿へも、東へ15km、京王線の特急で15分という典型的な近郊住宅都市である。

地形は、北に向かって高台となる段丘で、武蔵野台地と立川台地に広がっている。土地の高度は神代植物公園北方の台地が最も高く海拔57m、南の多摩川沿いの染地が最も低く、海拔24mとなっている。



1 人口

平成2年1月1日現在、調布市には191,709人が住み、人口密度8,913人/km²で過密状態である。増減を見ると、近年はほとんど自然増だけで横ばい状態であるが、転入転出が激しく、元年度は合わせて年間3万5,600人に達している。また、年齢階層別の人口の動きでは、15歳から64歳までは変化が少ないが、0歳から14歳までは減少し、逆に高齢人口は着実に増加している。平成2年1月1日現在、65歳以上の人は1万6,419人で総人口の8.6%に達しており、調布市も高齢化社会に入っている。

調布市の人口推移表 (表1-1)

(数値は1月1日現在)

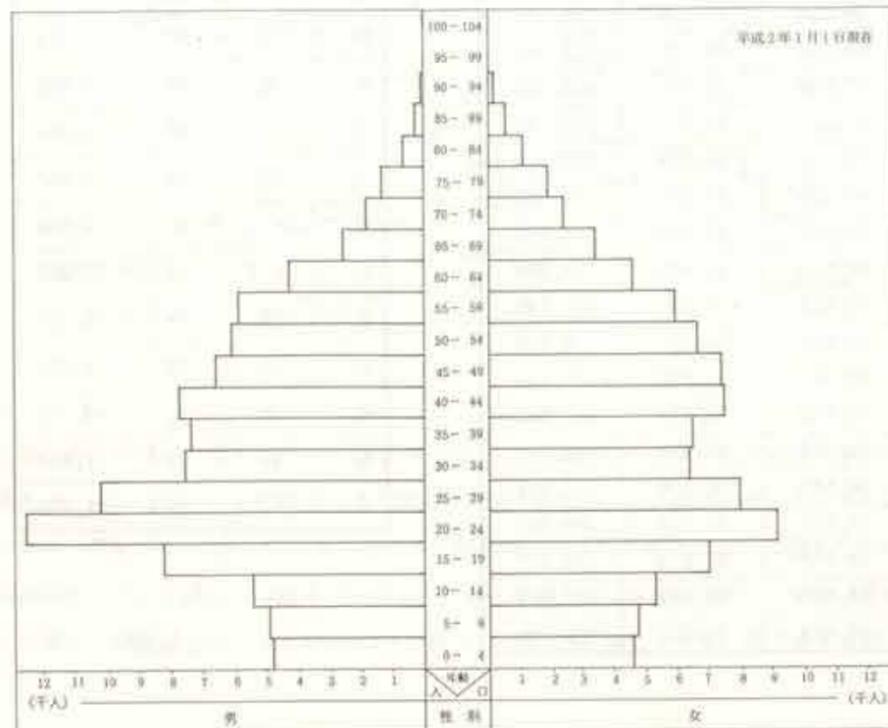
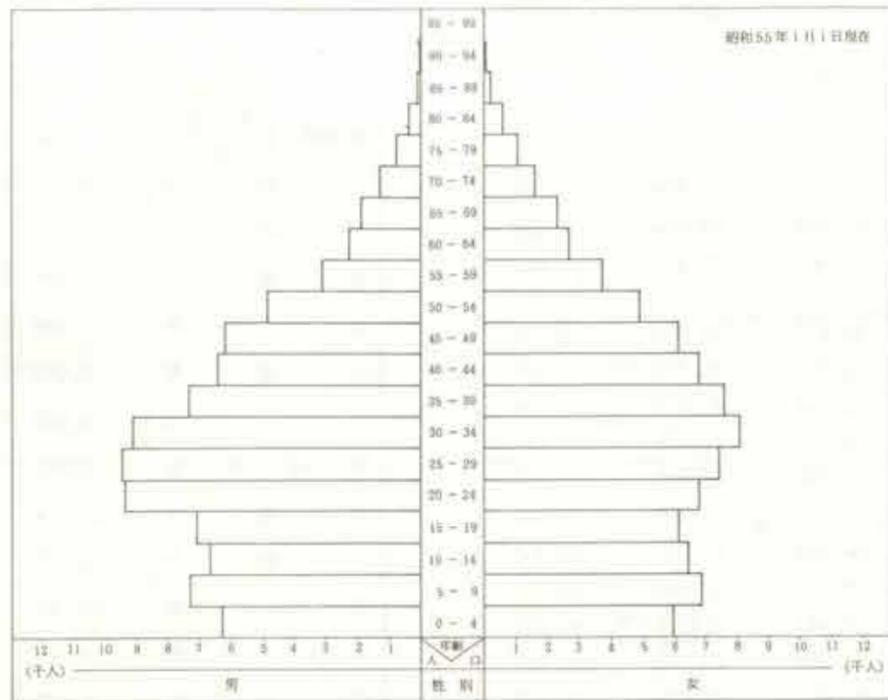
	男	女	合計
S 30	22,755	22,335	45,090
31	23,816	23,255	47,071
32	25,783	25,208	50,991
33	27,594	26,904	54,498
34	30,584	29,315	59,899
35	32,385	31,910	64,295
36	35,425	34,369	69,794
37	39,107	36,760	75,867
38	42,854	40,634	83,488
39	48,278	45,566	93,844
40	52,736	50,247	102,983
41	61,145	58,499	119,644
42	67,434	65,024	132,458
43	70,951	68,860	139,811
44	74,545	71,992	146,537
45	78,250	75,259	153,509
46	81,417	77,609	159,026
47	83,201	79,243	162,444
48	86,514	82,116	168,630
49	88,094	83,187	171,281
50	87,684	82,922	170,606
51	87,819	83,613	171,432
52	88,272	84,338	172,610
53	89,305	85,200	174,505
54	89,806	85,225	175,031
55	89,655	85,035	174,690
56	90,612	85,537	176,149
57	91,863	86,951	178,814
58	92,971	87,760	180,731
59	93,789	88,153	181,942
60	94,914	89,339	184,253
61	96,645	90,599	187,244
62	97,977	91,770	189,747
63	98,757	92,653	191,410
64	98,830	92,981	191,811
H 2	98,678	93,031	191,709

町別人口 (表1-2)

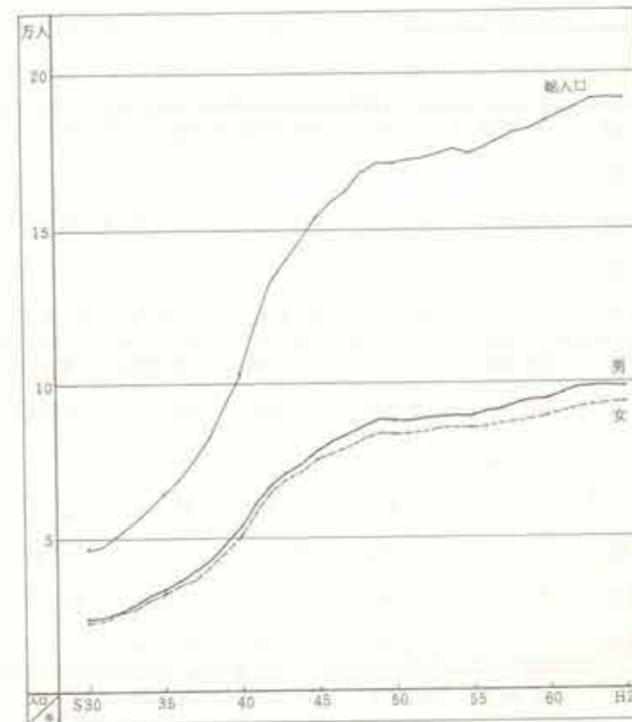
(H. 2.1.1.現在)

町名	人口
飛田給(野水・西町を含む)	6,244
上石原	8,414
下石原	8,210
多摩川	11,539
富士見町	9,494
小島町	8,103
布田	9,369
調布ヶ丘	6,983
国領町	20,074
八雲台	2,773
染地	15,365
深大寺元町	4,701
深大寺北町	5,655
深大寺東町	9,292
深大寺南町	3,112
佐須町	4,885
柴崎	6,976
入間町	7,007
東つつじヶ丘	4,694
西つつじヶ丘	13,894
若葉町	5,015
仙川町	4,886
緑ヶ丘	7,571
菊野台	7,453
合計	191,709

年齢別男女別人口構成 (図1-1)



調布市の人口の推移 (図1-2)



2 予 算

調布市は、平成2年度も、道づくりを主とした都市基盤の整備とるおいのある文化ゆたかなまちづくりを重点課題としている。新年度の予算編成にあたっては、消費的経費の節減に努めるとともに財政負担の増加を最小限にとどめ、財源を効率的に運用することをその基本としている。

図書館費について見ると、平成元年度決算額は3億3,797万円で、前年度に比べて898万円増加している。これは、改修工事を実施した館が前年度は2館であったのに若葉分館1館でその費用が減少した反面、新中央図書館用図書をはじめとする資料購入費が増加したほか、図書整備委託料、図書館資料管理電算化に要する経費が新たに加わったためである。

また、平成2年度当初予算額は5億4,123万円で、前年度当初予算額に比べて1億9,371万円増額になっている。これは、図書購入費3,266万円、改修工事関係費用9,998万円、図書館資料管理電算化に要する経費5,519万円がそれぞれ増額されたほか、図書購入冊数の増加に伴って図書整備委託料も増額になったからである。これらのうち、図書購入費の増額は年次計画に基づくものであるが、改修工事関係費用は、改修工事を2館について実施するほか、2館のボイラーを取替えるとともに、3館について大型木製書架を入替えるため、大幅な増額になった。図書館資料管理電算化に要する経費の増額は、システム開発と図書データ作成を新たに委託することによるものである。

年度別決算額の推移 (表 I-3)

科目	年度						
	S40	41	42	52	53	54	55
市費総額	1,729,966	2,111,464	2,355,029	20,942,418	21,746,176	24,331,014	26,876,122
指数		100	112	992	1,030	1,152	1,273
教育費	468,770	486,168	574,563	3,480,825	4,532,321	4,647,420	5,126,437
指数		100	118	716	932	956	1,054
市費に占める割合		23.0%	24.4%	16.6%	20.8%	19.1%	19.1%
図書館費	18,960	5,914	5,946	68,539	83,015	134,977	91,971
(図書費)		2,044	2,946	20,227	22,004	55,242	35,314
(建設費)	17,348	0	0	0	0	0	0
(その他)		3,870	3,000	48,312	61,011	79,735	56,657
指数		100	101	1,159	1,404	2,282	1,555
市費に占める割合		0.3%	0.3%	0.3%	0.4%	0.6%	0.3%
教育費に占める割合		1.2%	1.0%	2.0%	1.8%	2.9%	1.8%
人口	119,644	132,458	139,811	174,505	175,031	174,690	176,149
指数		100	106	132	132	132	133
人口一人当り							
市費	14,459	15,940	16,844	120,010	124,242	139,281	152,576
教育費	3,918	3,670	4,110	19,947	25,894	26,604	29,103
図書館費	158	45	43	393	474	773	522
図書購入費		15	21	116	126	316	200
図書館分館開館時		中央					築地

書籍平均単価		885	883	2,348	2,386	2,483	2,635
市書籍平均単価		1,212	630	1,041	1,089	1,348	1,270

- 図書館費に職員の給与等人件費は含まれていない。
- 人口は1月1日現在。
- 40、41年度は開館準備年度と開館年度にあたる。
- 44年度国領分館開館、45年度つつじヶ丘分館開館、46年度深大寺・神代分館開館、47年度宮の下分館開館、49年度富士見・緑ヶ丘分館開館、50年度若葉分館開館。
- 書籍平均単価は『出版年鑑』(出版ニュース社)による。

(単位 千円)

56	57	58	59	60	61	62	63	H1
30,229,207	31,855,245	32,295,852	34,544,398	37,006,648	37,656,662	42,240,488	46,747,909	52,555,125
1,432	1,509	1,530	1,636	1,753	1,783	2,001	2,214	2,489
6,195,692	4,802,891	5,259,307	6,000,325	7,249,014	5,948,019	6,089,547	6,618,625	6,718,605
1,274	988	1,082	1,234	1,491	1,223	1,253	1,361	1,382
20.5%	15.1%	16.3%	17.4%	19.6%	15.8%	14.4%	14.2%	12.8%
275,630	127,283	120,476	176,760	156,042	178,534	215,231	328,991	337,973
58,291	51,898	53,959	49,990	49,955	73,139	85,868	99,989	117,640
151,548	0	0	49,350	0	0	0	0	0
65,791	75,385	66,517	77,420	106,087	105,395	129,363	229,002	220,333
4,661	2,152	2,037	2,989	2,639	3,019	3,639	5,563	5,715
0.9%	0.4%	0.4%	0.5%	0.4%	0.5%	0.5%	0.7%	0.6%
4.4%	2.7%	2.3%	2.9%	2.2%	3.0%	3.5%	5.0%	5.0%
178,814	180,731	181,942	184,253	187,244	189,747	191,410	191,811	191,709
135	136	137	139	141	143	145	145	145
								(単位 円)
169,054	176,258	177,506	187,484	197,639	198,457	220,681	243,719	274,140
34,649	26,575	28,907	32,566	38,714	31,347	31,814	34,506	35,046
1,541	704	662	959	833	941	1,124	1,715	1,763
326	287	297	271	267	385	449	521	614
	佐須			(資料 保存庫)				

(単位 円)

2,754	2,712	6-2,740	2,751	2,833	2,521	2,449	2,496	2,609
1,315	1,424	1,490	1,456	1,435	2,002	1,881	1,852	1,933

図書館費内訳表 (表 I - 4)

節・細節	年度	60年度		61年度	
		決算額	%	決算額	%
賃金		2,465,738	1.58	2,604,390	1.46
報償費		3,937,300	2.52	4,995,592	2.80
旅費		270,650	0.17	268,570	0.15
一般需用費		32,771,922	21.00	34,708,029	19.44
食糧費		42,240	0.03	42,120	0.02
役務費		1,965,581	1.26	3,292,902	1.84
委託料		28,569,317	18.31	30,588,614	17.13
使用料及び賃借料		723,650	0.46	1,726,620	0.97
工事請負費		12,384,000	7.94	9,925,000	5.56
原材料費		100,650	0.06	129,480	0.07
備品購入費		72,740,925	46.62	90,089,352	50.46
(図書)		(49,954,880)	(32.01)	(73,138,752)	(40.96)
(機械器具)		(16,120,000)	(10.33)	(10,389,480)	(5.82)
(視聴覚教材)		(2,491,800)	(1.60)	(3,264,300)	(1.83)
(庁用器具)		(4,174,245)	(2.68)	(3,296,820)	(1.85)
負担金、補助及び交付金		61,600	0.04	61,600	0.04
補償、補填及び賠償金		0	—	93,374	0.05
公課費		8,800	0.01	8,800	0.01
合計		156,042,373	100	178,534,443	100

○ () 内は内訳。

(単位 円)

62年度		63年度		元年度		2年度当初予算
決算額	%	決算額	%	決算額	%	
2,611,437	1.21	2,726,772	0.83	8,193,408	2.42	8,618,000
6,798,496	3.16	8,511,175	2.59	13,197,228	3.91	13,815,000
664,720	0.31	830,910	0.25	859,360	0.25	906,000
35,461,333	16.48	40,127,250	12.20	44,269,948	13.10	45,651,000
58,330	0.03	55,100	0.02	69,709	0.02	92,000
3,397,528	1.58	8,400,041	2.55	5,893,946	1.74	9,501,000
32,324,164	15.02	32,460,204	9.87	54,840,386	16.23	114,025,000
2,752,470	1.28	4,122,648	1.25	5,143,659	1.52	5,563,000
30,363,000	14.11	112,045,000	34.06	69,378,740	20.53	162,965,000
92,994	0.04	98,388	0.03	0	—	0
100,561,863	46.72	119,543,013	36.33	136,050,820	40.26	179,990,000
(85,868,053)	(39.90)	(99,988,928)	(30.39)	(117,640,120)	(34.81)	(150,000,000)
(9,510,132)	(4.42)	(9,006,820)	(2.74)	(1,546,522)	(0.46)	(818,000)
(3,088,368)	(1.43)	(3,881,750)	(1.18)	(4,490,237)	(1.33)	(4,600,000)
(2,095,310)	(0.97)	(6,665,515)	(2.02)	(12,373,941)	(3.66)	(24,572,000)
61,600	0.03	61,600	0.02	66,100	0.02	62,000
74,000	0.03	0	—	0	—	30,000
8,800	0.00	8,800	0.00	8,800	0.00	9,000
215,230,735	100	328,990,901	100	337,972,104	100	541,227,000

II 図書館の概況

調布市立図書館は、昭和41年に開館して以来、資料の提供と各種事業の実施によって、図書館活動の充実を図ってきた。

また、身近な生涯教育の場として、分館網の整備にも取り組み、人口2万人に1館、半径800メートルに1館、2つの小学校区に1館を三原則として、現在、中央館を中心にして10分館が活動を行っている。

調布市立図書館網の中核機関として建設が計画されている新中央図書館は、市民からの要望も多く、平成6年度完成を目指して準備が進められている。

1 運営方針

調布市立図書館は、市民の参加と協力のもとに、地域に根ざした市民文化の創造に向けて積極的な図書館活動を展開するため、次の運営方針を定めている。

- (1) いつでも、どこでも、誰でも気軽に立ち寄れる市民図書館を目指し、市民のだれもが自由に図書館サービスを受けられるようにサービスの拠点を広げていく。
- (2) 利用を待つという静態的な活動に終始することなく、積極的に市民に働きかける動態的な図書館活動を目指す。
- (3) 子どもに良い読書環境を整備するため、各館に独立した児童室を設け、専任の職員を配置し、館内・館外に対して、あらゆる機会をとらえて児童サービスを行う。
- (4) 市民の身近なところで、文化的事業を開催し、文化創造の拠点として積極的な図書館活動を展開する。
- (5) 市民に充実した図書館サービスを保障するため、種々の機会をとらえて、組織的に研修を行い、職員の資質の向上を図る。

2 平成元年度 図書館活動

図書館は、平成元年度には、上記の5つの基本的な運営方針のもとに、多様化しつつ質的にも高度化する市民の要求に応えるため、次の重点事業を実施した。

(1) 蔵書の充実

中央館を含む11館がそれぞれ購入計画を立て、各館の規模や地域の要求に応じて、次の点に留意しながら図書を選択し収集した。とりわけ、若葉分館及び染地分館には予算を重点配分して、全集の入れ替え等を行った。購入冊数は、既設館分が42,896冊、新中央図書館分が17,960冊であった。

- ア 新刊書を中心に、市民のニーズに適応した図書の選択と収集
- イ 参考図書、各分野における専門的資料の収集
- ウ 郷土資料、行政資料の収集

エ 自然科学、技術・工学・工業、芸術、日本文学を中心とした新中央図書館用図書の収集

(2) 図書館業務のシステム化

新中央図書館建設に向けて本格的な準備作業が開始されたことに伴い、図書館内部においてもその建設計画を策定するとともに、図書館業務をシステム化するための準備作業に入った。

- ア 新中央図書館建設計画の策定
- イ 図書館電算システム導入基本計画の策定
- ウ 現中央館の蔵書及び新中央図書館用図書にバーコードラベルを貼付
- エ 作業マニュアルの整備
- オ 業務研修計画策定への着手

(3) 文化的事業の推進とサークル育成

図書館活動を市民と連帯した活動にするため、読書啓蒙活動を行うとともに、市民の学習活動及び創造活動を援助するため、次の事業を実施した。

- ア 講演会、講座等を中心とした文化的事業
- イ 地域における読書会、文化活動の援助と育成
- ウ 調布ブッククラブを中心とした市民団体及びサークルへの援助
- エ 第18回図書館まつり

(4) ハンディキャップサービスの充実

視覚障害者の読書権を保障するため、500巻を超える朗読テープを作成し、併せて、800巻を超える対面朗読を実施した。また、ボランティアの協力による点字翻訳は約2,900枚であった。

(5) 視聴覚ライブラリーの充実

視聴覚機器及び教材を整備するとともに、16ミリ発声映写機操作認定講習会及び16ミリ発声映写機検定を実施し、併せて、フィルム試写会を行った。また、都立多摩社会教育会館からのフィルム配送サービスの窓口としての業務も開始した。

以上の活動とともに、元年度も施設の改修・整備に努め、若葉分館の改修工事を実施したほか、緑ヶ丘分館及び富士見分館の改修設計を行った。また、今日までの経験と蓄積を基盤にして、日常活動の充実と将来への発展を図るため、「図書館だより」の発行等の広報活動、おはなし会、小学生読書会、中学生通信「ぶちねこ便」の発行、学校等の読書授業への協力にも力を注いだ。

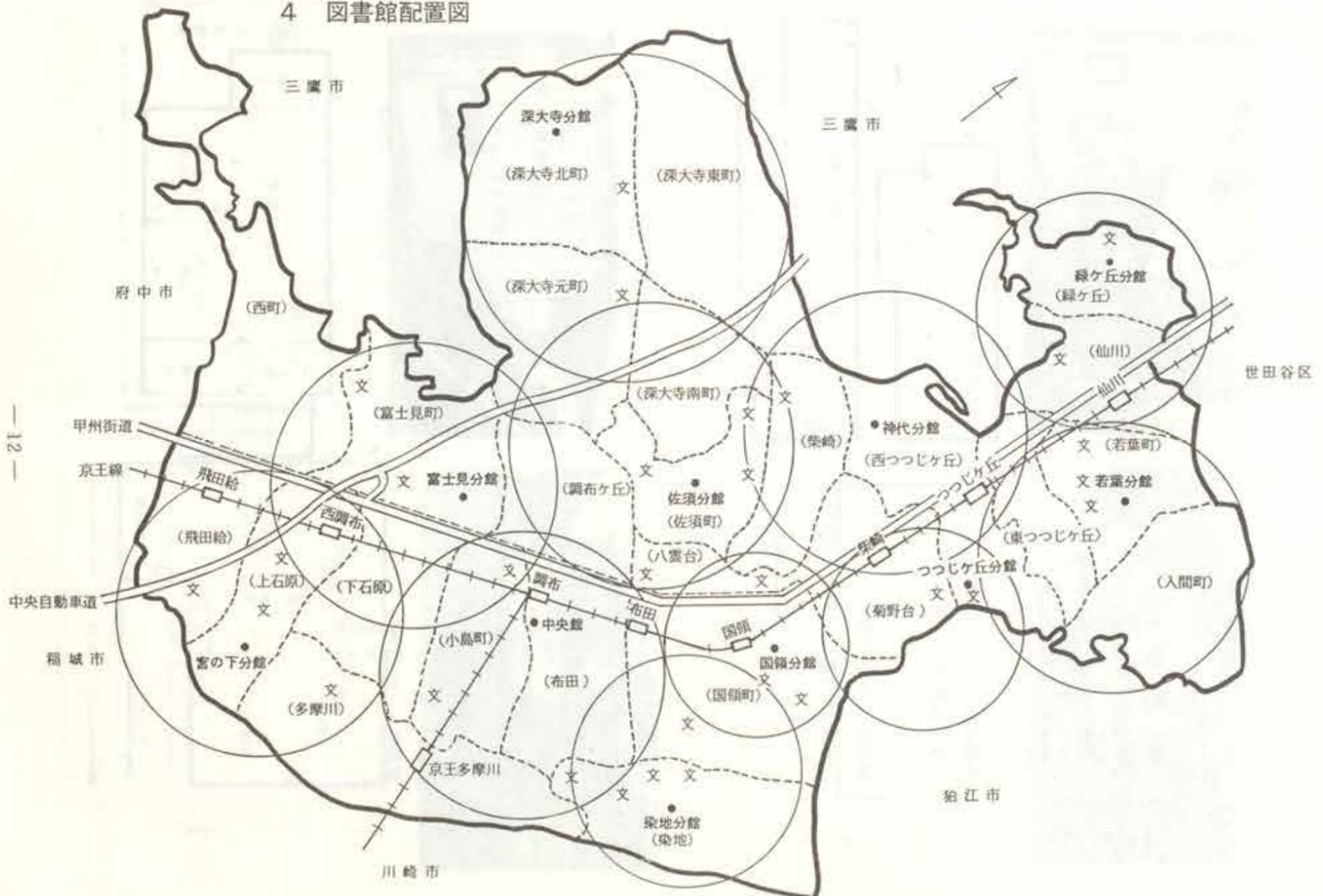
3 施設概況

平成2年8月1日現在

区分	館別	中央館	国領分館	つつじヶ丘分館	深大寺分館	神代分館	宮の下分館	緑ヶ丘分館	富士見分館	若葉分館	染地分館	佐須分館	資料保存庫	
竣工年月日		41.3.31	44.3.31	45.3.28	46.2.28	46.3.31	47.3.31	49.3.31	49.3.31	50.3.31	55.5.19	57.3.31	60.3.15	
開館日		41.6.10	44.8.14	45.7.20	46.7.24	46.10.1	47.7.24	49.7.20	49.7.20	児童室 50.4.12 成人室 50.7.5	55.6.6	57.7.13	60.4.1	
建設費(千円)		17,348	9,120	3,774	13,800	17,080	18,000	30,190	30,798	77,654	東京都負担	143,651	45,000	
敷地面積(m ²)		585	1,544	270	824	1,986	1,780	800	1,653	879	1,644	2,166	1,072	
土地購入費(千円)		市有地	53,100	借地	27,497	84,000	80,000	借地	162,000	市有地	借地	92,867	借地	
建物の造り	構造	鉄筋2階建	鉄筋の階上	コンクリートブロック	鉄骨平家	鉄筋の階上	鉄筋の階上	鉄骨平家	鉄筋の階上	鉄筋コンクリート2階建	鉄筋コンクリート3階建1階部分	鉄筋の階上	鉄骨平家	
	併設・単独	単	保育園併設	単	単	保育園併設	保育園併設	単	保育園併設	単	地域福祉センター併設 都営住宅併設	児童館併設	単	
設計事務所		和設計事務所	桜井設計事務所	和設計事務所	桜井設計事務所	桜井設計事務所	葵建築研究所	つかさ設計事務所	葵建築研究所	和設計事務所	都市建築計画センター	相和技術研究所	杉原設計事務所	
工事請負会社		石原建設	高尾建設	内村建設	増岡建設	増岡建設	白石建設	田辺工務店	山口組	大栄建設	藤田建設	東海建設	久保工務店	
所在地		布田 4-17-5	国領町 3-12-1	西つつじヶ丘 4-23-6	深大寺北町 5-6-1	西つつじヶ丘 1-40-5	上石原 3-34-10	緑ヶ丘 2-25	富士見町 2-3-25	若葉町 3-16-13	染地 3-3-1	佐須町 4-42-2	上石原 2-7-6	
電話		81-7661	84-2000	85-2000	85-3350	85-0054	86-5798	300-7672	81-7664	309-3411	88-8393	85-1306	87-2660	
床面積(m ²)		609	324	114	257	364	342	288	324	516	369 298(備) 71(共)	605	485	
職員(町書)		15(8)	(3)	(2)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(5)	(3)	(3)	0	
蔵書能力(冊)		55,000	32,000	12,000	24,000	30,000	26,000	27,000	26,000	38,000	37,000	開架35,000 閉架50,000	200,000	
施設の概況	一般室	230m ²	175m ²	26m ²	90m ²	140m ²	130m ²	120m ²	136m ²	173m ²	153m ²	245m ²	電動式書架室	
	児童室	63m ²	91m ²	52m ²	63m ²	68m ²	56m ²	64m ²	56m ²	123m ²	105m ²	80m ²		固定式書架室
	集会室	なし	なし	なし	28m ²	34m ²	45m ²	なし	63m ²	51m ²	なし	なし		
	成人用座席	67	40	3	12	24	12	20	26	24	24	12	24	200m ²
	児童用座席	14	23	18	16	21	20	20	22	24	24	12	12	
	おはなし室	なし	20m ²	なし	なし	25m ²	18m ²	20m ² (兼用)	なし	32m ²	なし	25m ²		

(専) 専用部分 (共) 共用部分

4 図書館配置図



Ⅲ 各館の概要

1 中央館

調布市布田4-17-5

電話 0424-81-7661

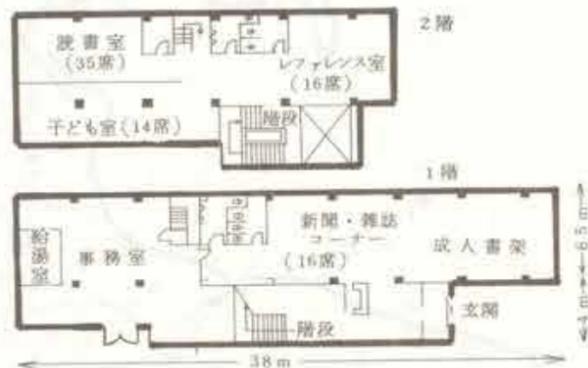
FAX 0424-81-7665

昭和41年6月10日開館

(京王線調布駅より徒歩2分)

蔵書数 115,706冊

(平成2年3月31日現在 以下同じ。)



2 国領分館

調布市国領町3-12-1

電話・FAX 0424-84-2000

昭和44年8月14日開館 (保育園併設)

(京王線国領駅より徒歩3分)

蔵書数 31,027冊



3 つつじヶ丘分館

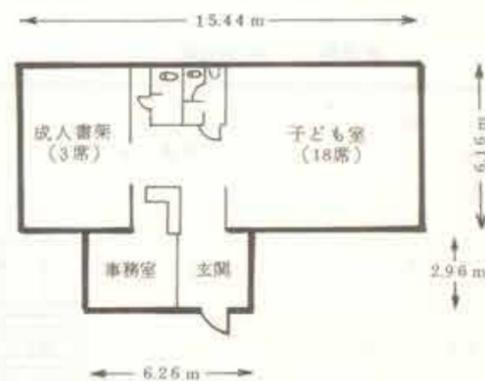
調布市西つつじヶ丘4-23-6

電話・FAX 0424-85-2000

昭和45年7月20日開館

(京王線つつじヶ丘駅より徒歩10分)

蔵書数 14,039冊



4 深大寺分館

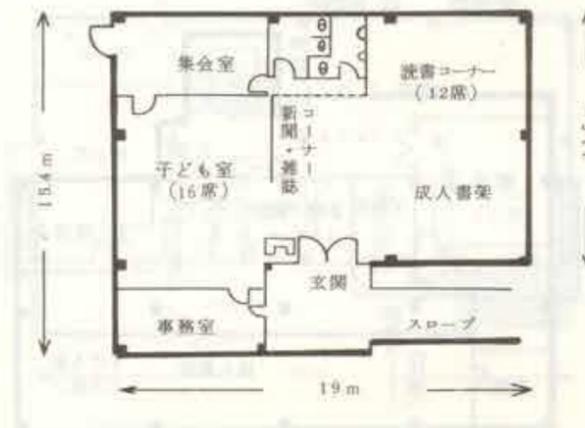
調布市深大寺北町5-6-1

電話・FAX 0424-85-3350

昭和46年7月24日開館

(吉祥寺・三鷹行バス山野より 徒歩8分)

蔵書数 28,993冊



5 神代分館

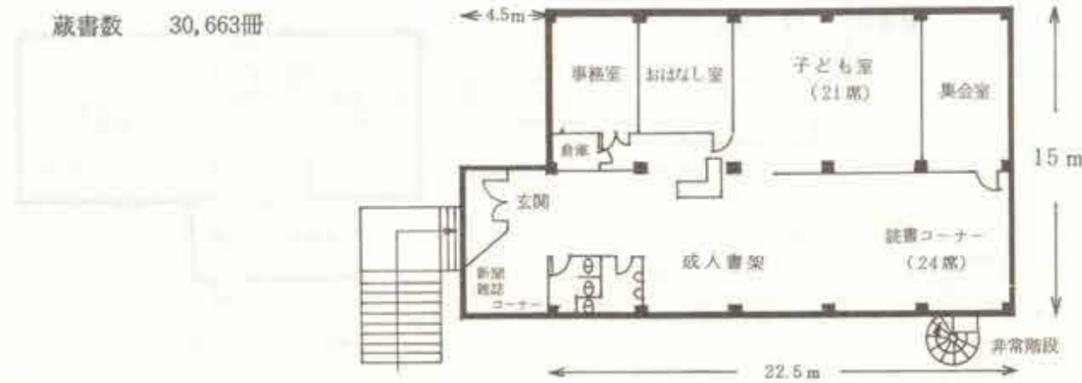
調布市西つつじヶ丘1-40-5

電話・FAX 0424-85-0054

昭和46年10月1日開館 (保育園併設)
(京王線つつじヶ丘駅より徒歩8分)



蔵書数 30,663冊



6 宮の下分館

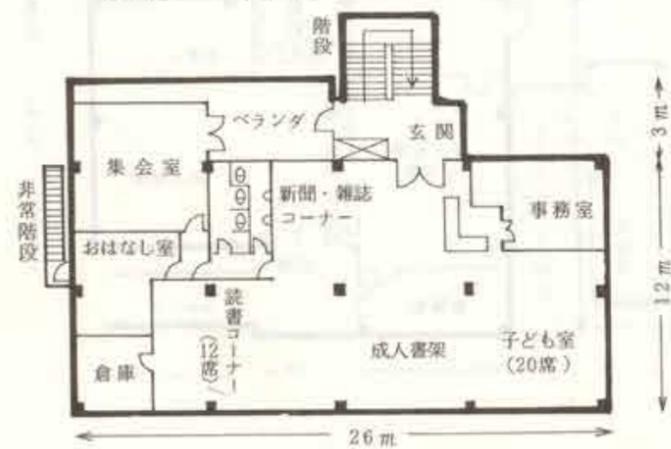
調布市上石原3-34-10

電話・FAX 0424-86-5798

昭和47年7月24日開館 (保育園併設)
(京王線西調布駅より徒歩15分)



蔵書数 27,500冊



7 緑ヶ丘分館

調布市緑ヶ丘2-25

電話・FAX 03-300-7672

昭和49年7月20日開館
(京王線仙川駅より徒歩12分)



蔵書数 25,280冊



8 富士見分館

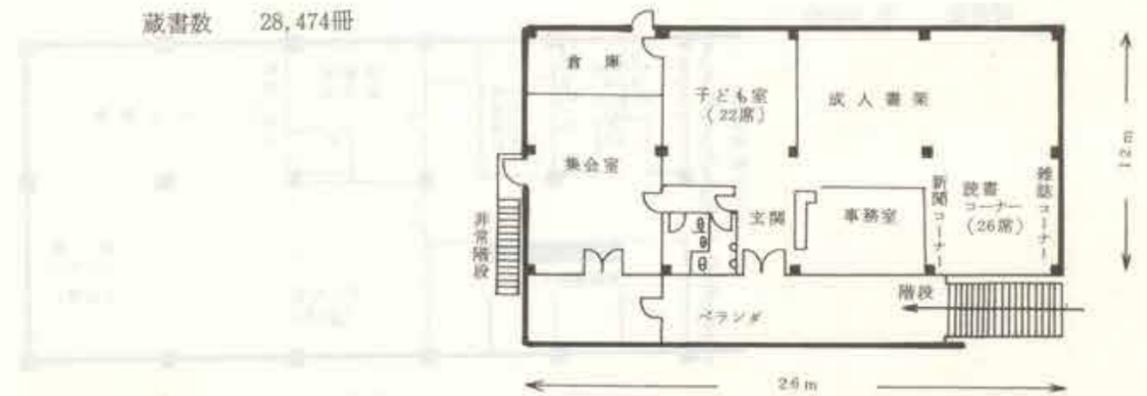
調布市富士見町2-3-26

電話・FAX 0424-81-7664

昭和49年7月20日開館 (保育園併設)
(京王線調布駅より徒歩15分)



蔵書数 28,474冊



9 若葉分館

調布市若葉町3-16-13

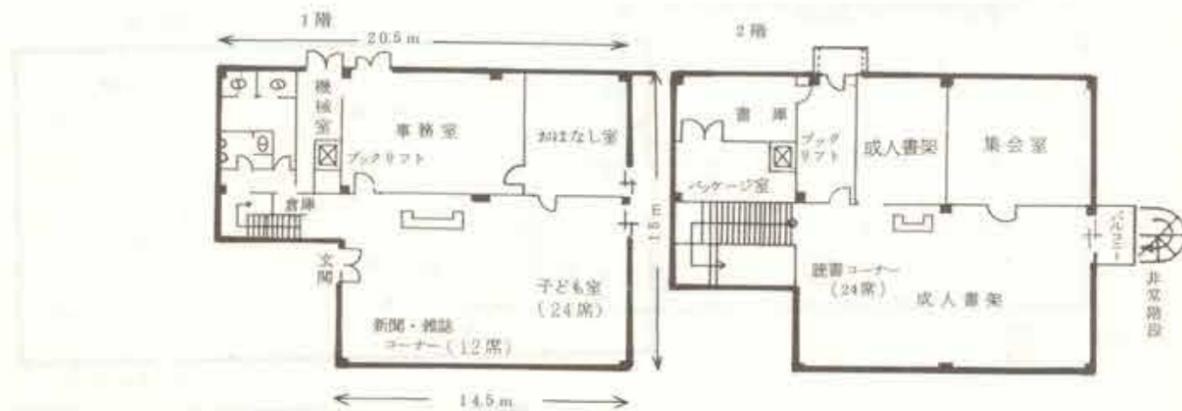
電話・FAX 03-309-3411

昭和50年4月12日(児童室)

7月5日(成人室)開館

(京王線仙川駅より徒歩12分)

蔵書数 37,537冊



10 染地分館

調布市染地3-3-1

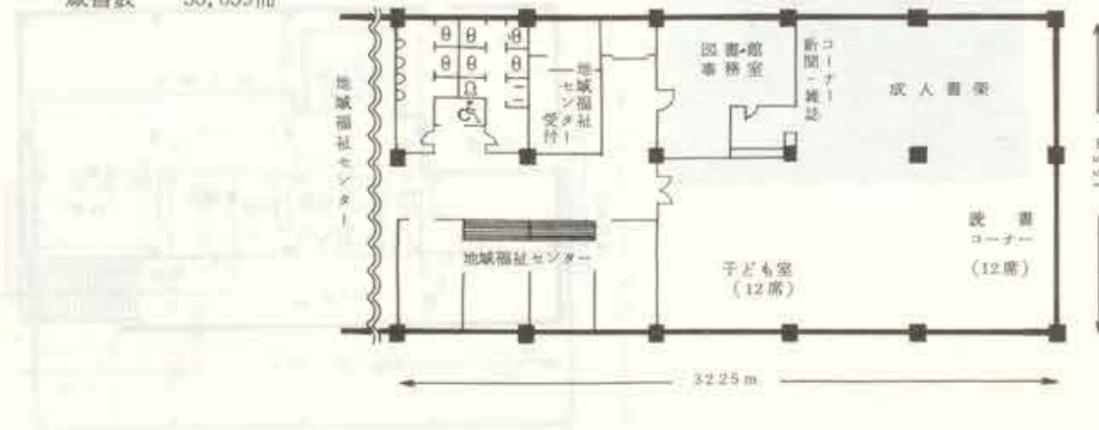
電話・FAX 0424-88-8393

昭和55年6月6日開館(地域福祉センター併設)

(多摩川住宅西行バス染地公園前より 徒歩3分)



蔵書数 35,659冊



11 佐須分館

調布市佐須町4-42-2

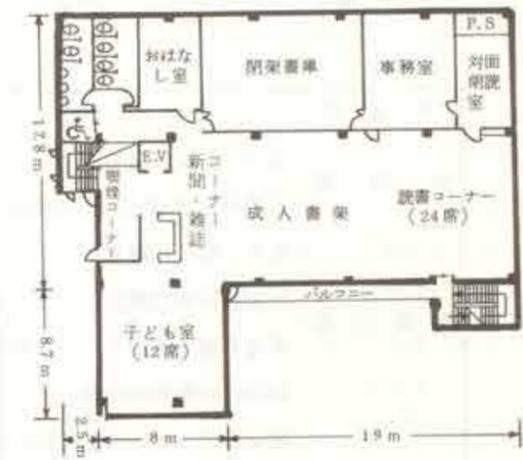
電話・FAX 0424-85-1306

昭和57年7月13日開館(児童館併設)

(京王線布田駅より徒歩15分)



蔵書数 32,552冊



IV 各館の事業

1 子ども対象の事業

(1) おはなし会

幼児から小学生を対象に、ストーリーテリング、絵本の読み聞かせ、紙芝居、スライド、16ミリフィルム等を組み合わせたプログラムを用意し、楽しいお話の世界へ導くことを目的として実施した。定例日の他に、夏休み、クリスマス等に特別おはなし会を実施した館もある。

実施館	日 時	実施館	日 時
中央館	第2・第4水曜日 3:00~3:30(幼児・小学生)	緑ヶ丘分館	第4金曜日 3:00~3:30(幼児・小学生)
国領分館	第1・第3水曜日 2:30~3:00(幼児) 第2・第4水曜日 3:30~4:00(小学生)	富士見分館	毎週水曜日 2:00~2:20(幼児) 第1・第3水曜日 3:00~3:30(小学生)
つつじヶ丘分館	第2日曜日 10:00~10:20(幼児) 10:30~11:00(小学生)	若葉分館	毎週火曜日 3:00~3:30(小学生) 毎週木曜日 3:00~3:30(幼児)
深大寺分館	毎週木曜日 3:00~3:30(幼児) 第1・第3木曜日 3:30~4:00(小学生)	染地分館	第2・第4木曜日 3:00~3:30(幼児) 3:30~4:00(小学生)
神代分館	第1・第3水曜日 3:00~3:30(幼児) 第2・第4水曜日 3:00~3:30(小学生)	佐須分館	毎週水曜日 2:30~2:50(幼児) 第1・第3水曜日 3:30~3:50(小学生)
宮の下分館	第1・第2・第3水曜日 3:00~3:30(幼児) 3:30~4:00(小学生)		

(2) 小学生読書会

小学校3年生から6年生までを対象に、幅広く本の世界の楽しさを知ってもらうために実施した。日常の生活に結びついたテーマを中心にプログラムを組み、ストーリーテリング、本の読み聞かせと合わせて、文学作品、ノンフィクションなどの本を紹介した。また、創作活動もとり入れ、創造力を啓発した。

実施館	日 時
中央館	第1日曜日 10:00~11:00
緑ヶ丘分館	第4金曜日 3:30~4:30

(3) 市立小学校との協力事業

市内公立全小学校を対象に、読書の動機づけを行った。対象は原則として、社会科で図書館について学び、行動範囲も広がる3年生とし、図書館利用のガイダンスや本の紹介をした。学校の要望に応じて、他の学年にも実施した。この他、夏休み向けに、先生方と協力して推せん図書リストを作成し、それ以外の図書館作成リストも随時配布した。また、先生方から読書相談を受けたり、依頼により父母に向けて本の紹介や読み聞かせについての会をもつなど学校との連携をはかった。希望に応じて団体貸出も行った。

プログラム例

内 容
④プログラム ガイダンス(3年生) 1. 「としょかんのつかいかた」(利用案内の説明) 2. 読み聞かせ 「きょうりゅうのかいかた」 3. 本の紹介 「子犬のロクがやってきた」「大千世界のなかまたち」 4. ストーリーテリング 「おはなしおはなし」
⑤プログラム テーマ: 病気の本 からだの本(1年生) 1. 読み聞かせ 「あたしもびょうきになりたいな」「はなのあなのはなし」 2. 本の紹介 「おっとあぶない」「よるのびょういん」他 3. ストーリーテリング 「マメ子と魔物」
⑥プログラム テーマ: 不思議な世界(4年生) 1. 読み聞かせ 「壺の中」 2. 本の紹介 「てじなでだましっこ」「魔法使いのチョコレート・ケーキ」他 3. ストーリーテリング 「あくびがでるほどおもしろい話」

平成元年度学校協力事業実施回数及び団体貸出冊数 (表IV-1)

学校名	学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	団体貸出冊数
第	一	1	1	1	1			4	1,520
第	二			1				1	122
第	三			1				1	832
八雲台				1				1	0
富士見台				1				1	360
滝坂				1				1	0
深大寺				1				1	0
上ノ原				1	1			2	0
石原				1				1	0
若葉	2		1					3	9,481
野川			1					1	0
緑ヶ丘	1		1	1	1			4	0
染地			1					1	50
北ノ台			1					1	150
多摩川			1					1	0
杉森			1					1	0
大町			1					1	0
飛田給			1					1	0
柏野			1					1	0
国領			1					1	8
布田			1					1	360
計		4	1	21	3	1		30	12,883

(4) その他

事業名	日時・会場	内容
中学生通信の発行	・毎月1回、第1日曜日 午前9時半～11時半 ・国領分館(編集会場)	中学生との交流と、図書館利用の促進をめざして、中学生による中学生のための通信「ぶちねこ便」を発行した。各図書館のカウンターを通して配布したところ、読者からの反響は大きかった。
二葉学園読書会	・毎月1回、第4水曜日 午後6時半～7時半 ・二葉学園	読み聞かせの本の紹介などを中心に、本の世界の楽しさを知ってもらい、読書への導入をはかった。また、本を媒介にしての創作も行った。
その他 全館実施	・随時 ・児童館・学童保育所 ・保育園・幼稚園	市の施設等に対して、図書館の団体貸出や施設を利用して子どもたちを対象に、ストーリーテリングや読み聞かせなどを行い、相互の連携をはかった。

2 成人対象の事業

事業名	日時・会場	内容
子どもの本を読む会	・毎月1回、第4火曜日 午前10時～12時 ・公民館ほか	昔話、新刊書、基本的な図書などをとりあげて読書会を催した。大冊の作品にも手をのばし、相互の読後感を話し合い、子どもと本に対する理解を深めた。
絵本の会	・毎月1回、第3木曜日 午前10時～12時 ・深大寺分館	絵本についての勉強会で、元年度は、定評のある絵本作家を取りあげて、絵本と子どもをめぐる様々な問題について話し合った。



学校協力事業 (3年生へのガイダンス)



子どもの本を読む会

V 蔵書の状況

各分館においては、それぞれ、文学を中心に社会科学、歴史、地理、家庭など比較的利用頻度の高い分野に重点を置いて整備をすすめた。

一方、中央館では、各分館のセンターとしての役割を果たすために、すべての分野にわたって網羅的に収集することを原則として蔵書の構築をはかっている。しかし、課題として全館的な視野にわたっての選書体制づくりが残っており、取り組みを急ぎたい。

また、現在の中央館は、所蔵能力を超えており、新しい資料でも、佐須分館内の閉架書庫と中央自動車道高架下にある資料保存庫の2カ所に分けて、配架せざるを得ない状況である。

このように、利用者の

求める資料を所蔵しているにもかかわらず、直ちに提供できない状況にあり、十分な書架スペースと保存機能を備えた新しい中央図書館の建設が大いにまたれる。

新中央図書館用の図書購入については、成人用が自然科学・工学・芸術・日本文学・映画資料・大型活字本の分野別に、児童用は出版社別にまとめて購入され、合わせて17,960冊が新たに加わり、43,591冊となった。

図書の保存に関しても、全館からの保存希望図書を対象に作業が進められたため、絶版本など資料的価値のある本を保持できるようになった。

年度別蔵書冊数の推移 (表V-1)

年度	分野	成人図書	児童図書	計
S 4 1		7,946	1,308	9,254
4 2		12,272	2,588	14,860
4 3		16,390	4,392	20,782
4 4		22,142	7,570	29,712
4 5		28,068	10,834	38,902
4 6		34,997	18,810	53,807
4 7		49,510	26,365	75,875
4 8		73,570	34,157	107,727
4 9		99,001	53,375	152,376
5 0		121,382	61,570	182,952
5 1		136,416	67,312	203,728
5 2		147,581	68,412	215,993
5 3		159,407	71,587	230,994
5 4		171,602	74,840	246,442
5 5		192,087	80,480	272,567
5 6		215,795	86,839	302,634
5 7		230,830	92,337	323,167
5 8		246,592	94,786	341,378
5 9		244,022	96,960	340,982
6 0		248,763	96,666	345,429
6 1		259,143	100,279	359,422
6 2		274,890	105,052	379,942
6 3		287,964	106,665	394,629
H 1		296,702	110,034	406,736

館別・分類別蔵書冊数 (表V-2)

平成2年3月31日現在

分類	館名	中央館	国分館	額分館	つじヶ丘分館	深大寺分館	神代分館	宮の下分館	緑ヶ丘分館	富士分館	若葉分館	養正分館	柴分館	地分館	佐須分館	合計
	郷土資料	3,595														3,595
	0 総記	8,471	596	745	114	743	736	599	719	660	851	949	814	15,252		
	1 哲学・宗教	4,197	745	469	67	564	803	472	379	523	905	658	815	10,128		
	2 歴史・地理	9,941	2,433	448	469	2,296	2,736	2,069	2,061	1,896	3,335	2,691	2,799	32,746		
	3 社会科学	13,817	2,665	448	448	2,417	2,934	2,132	2,094	2,304	2,910	2,910	2,932	37,572		
	4 自然科学	4,210	1,518	290	290	1,347	1,625	1,340	1,184	1,198	1,946	1,545	2,064	18,266		
	5 工業・家庭	3,563	1,777	1,111	1,111	1,913	1,902	1,785	1,647	1,654	1,732	1,786	1,867	20,737		
	6 産業・交通	1,627	492	83	83	500	569	482	339	391	428	431	547	5,889		
	7 芸術・スポーツ	7,696	2,097	307	307	2,054	2,318	1,834	1,451	2,041	2,751	2,293	2,430	27,272		
	8 語学	1,628	500	94	94	566	521	404	371	395	578	614	546	6,217		
	9 文学	28,049	10,185	3,545	3,545	9,446	8,680	8,976	7,948	9,731	11,445	11,445	9,128	119,026		
	小計	86,794	23,008	6,528	6,528	21,846	22,825	20,113	18,193	20,793	26,881	25,779	23,942	296,702		
	児童図書	28,912	8,019	6,817	6,817	7,147	7,838	7,387	7,087	7,681	10,656	9,880	8,610	110,034		
	合計	115,706	31,027	13,345	13,345	28,993	30,663	27,500	25,280	28,474	37,537	35,659	32,552	406,736		

館別購入・寄贈受入・除籍冊数 (表 V-3)

資料区分	館名 年度	中央館			国領分館			つつじヶ丘分館		
		62年度	63年度	元年度	62年度	63年度	元年度	62年度	63年度	元年度
購入	郷土資料	48	95	303	—	—	—	—	—	—
	成人	5,690	6,547	6,255	1,703	1,905	2,031	—	—	1,212
	児童	2,481	2,283	2,918	1,210	892	1,094	1,459	1,146	1,224
	合計	8,219	8,925	9,476	2,913	2,797	3,125	1,459	1,146	2,436
寄贈	郷土資料	203	287	112	—	—	—	—	—	—
	成人	1,494	1,105	959	191	423	238	—	—	133
	児童	98	218	653	10	39	8	16	10	18
	合計	1,795	1,610	1,724	201	462	246	16	10	151
除籍	郷土資料	0	0	1	—	—	—	—	—	—
	成人	607	1,762	1,496	624	2,359	1,134	—	—	790
	児童	350	624	435	496	1,839	821	1,561	912	2,115
	合計	957	2,386	1,932	1,120	4,198	1,955	1,561	912	2,905

資料区分	館名 年度	緑ヶ丘分館			富士見分館			若葉分館		
		62年度	63年度	元年度	62年度	63年度	元年度	62年度	63年度	元年度
購入	郷土資料	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	成人	2,425	1,945	1,794	2,033	2,543	2,081	2,961	2,792	2,166
	児童	1,188	1,121	1,256	947	1,428	1,340	1,363	1,225	1,418
	合計	3,613	3,066	3,050	2,980	3,971	3,421	4,324	4,017	3,584
寄贈	郷土資料	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	成人	247	399	48	223	304	356	390	491	286
	児童	10	4	10	13	14	3	7	60	5
	合計	257	403	58	236	318	359	397	551	291
除籍	郷土資料	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	成人	3,219	628	2,552	333	1,256	2,080	2,467	3,434	1,537
	児童	2,079	445	1,085	338	2,394	1,016	1,172	766	394
	合計	5,298	1,073	3,637	671	3,650	3,096	3,639	4,200	1,931

○ 中央館は、このほかに新中央図書館用図書として、61年度 2,849冊、62年度 7,934冊、63年度14,848冊、元年度 17,960冊を購入。(利用は可能だが未登録。)

深大寺分館			神代分館			宮の下分館		
62年度	63年度	元年度	62年度	63年度	元年度	62年度	63年度	元年度
—	—	—	—	—	—	—	—	—
1,955	2,211	2,274	2,039	1,630	2,282	1,976	2,270	2,343
814	914	1,000	1,033	919	1,211	984	1,410	1,103
2,769	3,125	3,274	3,072	2,549	3,493	2,960	3,680	3,446
—	—	—	—	—	—	—	—	—
101	40	93	176	183	285	38	108	88
4	3	—	6	37	9	8	17	14
105	43	93	182	220	294	46	125	102
—	—	—	—	—	—	—	—	—
1,302	277	2,698	1,806	839	3,497	1,004	2,198	2,317
786	154	1,855	943	1,137	1,416	164	946	1,507
2,088	431	4,553	2,749	1,976	4,913	1,168	3,144	3,824

染地分館			佐須分館			計		
62年度	63年度	元年度	62年度	63年度	元年度	62年度	63年度	元年度
—	—	—	—	—	—	48	95	303
1,622	1,638	2,383	1,737	1,802	2,206	24,141	25,283	27,027
1,039	1,184	1,734	1,019	1,244	1,268	13,537	13,766	15,566
2,661	2,822	4,117	2,756	3,046	3,474	37,726	39,144	42,896
—	—	—	—	—	—	203	287	112
620	649	718	47	52	86	3,527	3,754	3,290
4	26	20	2	16	9	178	444	749
624	675	738	49	68	95	3,908	4,485	4,151
—	—	—	—	—	—	0	0	1
226	3,094	820	491	1,252	2,608	12,079	17,099	21,529
253	1,667	1,049	594	1,975	1,293	8,736	12,859	12,986
479	4,761	1,869	1,085	3,227	3,901	20,815	29,958	34,516

○ 分館蔵書整備年次計画 1年次(61年度) 国領・深大寺 2年次(62年度) 神代・緑ヶ丘
3年次(63年度) 宮の下・富士見 4年次(元年度) 若葉・染地
○ 曝書(本の棚卸)実施館 62年度 中央館・つつじヶ丘・深大寺・神代・緑ヶ丘・若葉
63年度 国領・富士見・染地・佐須
元年度 中央館・つつじヶ丘・深大寺・神代・宮の下・緑ヶ丘

VI 利用の状況

1 登録

年度別・町別登録者数 (表VI-1)

町名	年度	S41	54	55	56	57	58
飛田給(野水・西町を含む)			662	687	682	697	708
上石原			1,370	1,441	1,432	1,500	1,472
下石原			1,262	1,212	1,285	1,252	1,249
多摩川			1,806	1,944	2,111	2,080	1,929
富士見町			2,105	2,247	2,137	2,366	2,380
小島町			1,716	1,726	1,789	1,859	1,874
小布田			1,470	1,461	1,576	1,644	1,689
下布田			66	95	70	81	69
調布ヶ丘			1,096	1,062	1,016	1,249	1,197
国領台			3,667	4,341	4,688	5,208	6,133
八雲			—	—	—	—	—
深大寺			2,300	5,080	5,149	5,184	4,162
深大寺元町			4,048	3,959	3,872	4,410	4,366
深大寺北町			深大寺は、59年11月1日、町名地番改正のため				—
深大寺東町			深大寺元・北・東・南の4町にわかれた。				—
深大寺南町							—
佐須町			733	668	714	1,556	1,455
柴崎町			1,508	1,523	1,440	1,780	1,754
入間町			1,212	1,158	1,161	1,189	1,132
東つつじヶ丘			876	849	924	930	822
西つつじヶ丘			3,293	3,177	3,160	3,112	3,246
若葉町			1,001	1,004	997	1,007	1,073
仙川町			676	591	550	521	564
緑ヶ丘			2,146	1,914	1,800	1,688	1,638
菊野台			1,238	1,271	1,287	1,303	1,400
市内小計			34,251	37,410	37,840	40,616	40,312
調布市外			2,773	2,254	1,933	1,738	1,506
合計			3,082	37,024	39,664	39,773	41,818

- 下布田は、60年9月1日町名地番改正により廃止。
- 八雲台は、" " により設置。
- 62年度より貸出券の有効期間が3年間(平成2年3月まで)となった。

59	60	61	62	63	H1	S62・63 H1累計
770	747	714	725	304	248	1,277
1,575	1,479	1,415	1,515	558	382	2,455
1,260	1,267	1,364	1,273	462	415	2,150
1,911	1,907	2,057	2,164	787	600	3,551
2,403	2,282	2,271	2,087	630	545	3,262
1,770	1,714	1,728	1,613	515	478	2,606
1,640	1,572	1,498	1,549	669	442	2,660
84	—	—	—	—	—	—
1,265	1,186	1,212	1,221	454	394	2,069
6,042	5,256	4,560	4,335	1,377	1,080	6,792
—	—	536	443	211	166	820
4,095	4,988	5,014	4,727	1,268	843	6,839
4,411	—	—	—	—	—	—
—	857	802	731	223	185	1,139
—	1,289	1,160	1,127	324	222	1,673
—	1,369	1,192	1,079	373	320	1,772
—	577	644	542	189	133	864
1,468	1,376	1,291	1,175	318	251	1,744
1,720	1,622	1,591	1,557	565	447	2,568
1,275	1,281	1,275	1,270	333	291	1,894
845	805	826	818	237	244	1,299
3,288	3,284	3,335	3,233	919	755	4,907
1,134	1,149	1,092	1,047	297	233	1,577
519	548	554	549	196	161	906
1,644	1,801	1,678	1,554	279	226	2,059
1,254	1,202	1,344	1,136	383	318	1,837
40,373	39,588	39,153	37,470	11,871	9,379	58,720
1,418	1,341	1,331	1,220	483	434	2,137
41,791	40,899	40,484	38,690	12,354	9,813	60,857

年度別・館別登録者数 (表VI-2)

館別	年度	S 41	54	55	56	57	58
成人	中央館	2,161	7,844	7,609	7,868	7,666	7,360
	国領分館		2,000	1,972	2,017	2,129	2,037
	つつじヶ丘分館		944	949	1,009	971	1,027
	深大寺分館		1,377	1,344	1,375	1,483	1,475
	神代分館		2,010	1,984	1,927	1,901	1,919
	宮の下分館		1,203	1,170	1,264	1,242	1,256
	緑ヶ丘分館		1,243	1,068	1,023	954	941
	富士見分館		1,177	1,262	1,197	1,304	1,324
	若葉分館		2,086	1,958	2,003	1,948	1,935
	染地分館			2,000	2,181	2,279	2,370
佐須分館					1,355	1,560	
計		2,161	19,884	21,316	21,864	23,232	23,204
指数		100	920	986	1,011	1,075	1,074
児童	中央館	921	4,057	3,558	3,534	3,210	2,901
	国領分館		1,910	2,022	2,113	1,989	1,969
	つつじヶ丘分館		1,422	1,326	1,235	1,234	1,296
	深大寺分館		1,471	1,404	1,320	1,349	1,203
	神代分館		1,755	1,687	1,576	1,516	1,481
	宮の下分館		1,598	1,535	1,507	1,532	1,389
	緑ヶ丘分館		1,583	1,334	1,188	1,073	1,000
	富士見分館		1,436	1,529	1,414	1,521	1,481
	若葉分館		1,908	1,736	1,692	1,688	1,750
	染地分館			2,217	2,330	2,388	2,331
佐須分館					1,622	1,813	
計		921	17,140	18,348	17,909	19,122	18,614
指数		100	1,861	1,992	1,944	2,076	2,021
合計	中央館	3,082	11,901	11,167	11,402	10,876	10,261
	国領分館		3,910	3,994	4,130	4,118	4,006
	つつじヶ丘分館		2,366	2,275	2,244	2,205	2,323
	深大寺分館		2,848	2,748	2,695	2,832	2,678
	神代分館		3,765	3,671	3,503	3,417	3,400
	宮の下分館		2,801	2,705	2,771	2,774	2,645
	緑ヶ丘分館		2,826	2,402	2,211	2,027	1,941
	富士見分館		2,613	2,791	2,611	2,825	2,805
	若葉分館		3,994	3,694	3,695	3,636	3,685
	染地分館			4,217	4,511	4,667	4,701
佐須分館					2,977	3,373	
計		3,082	37,024	39,664	39,773	42,354	41,818
指数		100	1,201	1,287	1,290	1,374	1,357
登録率		2.5	21.2	22.5	22.2	23.4	23.0

59	60	61	62	63	H 1	S62・63 H1 累計
7,325	7,207	7,267	7,182	3,569	2,884	13,635
2,026	2,111	2,178	2,035	774	644	3,453
1,004	1,032	994	940	288	217	1,445
1,460	1,330	1,319	1,210	309	258	1,777
1,957	2,055	2,213	2,112	613	617	3,342
1,381	1,442	1,496	1,647	458	371	2,476
1,071	1,168	1,167	1,166	272	208	1,646
1,421	1,466	1,424	1,414	362	318	2,094
2,167	2,228	2,229	2,279	674	491	3,444
2,440	2,596	2,750	2,632	608	396	3,636
1,879	1,925	1,843	1,738	566	394	2,698
24,131	24,560	24,880	24,355	8,493	6,798	39,646
1,117	1,137	1,151	1,127			
2,687	2,448	2,487	2,380	992	708	4,080
1,740	1,611	1,546	1,332	369	273	1,974
1,192	1,063	1,153	1,054	207	182	1,443
1,190	1,031	830	748	215	139	1,102
1,366	1,250	1,240	1,123	300	303	1,726
1,350	1,277	1,268	1,242	312	276	1,830
950	1,015	944	809	93	91	993
1,449	1,374	1,290	1,110	284	251	1,645
1,761	1,606	1,543	1,457	331	260	2,048
2,243	2,084	1,922	1,844	335	255	2,434
1,732	1,580	1,381	1,236	423	277	1,936
17,660	16,339	15,604	14,335	3,861	3,015	21,211
1,917	1,774	1,694	1,556			
10,012	9,655	9,754	9,562	4,561	3,592	17,715
3,766	3,722	3,724	3,367	1,143	917	5,427
2,196	2,095	2,147	1,994	495	399	2,888
2,650	2,361	2,149	1,958	524	397	2,879
3,323	3,305	3,453	3,235	913	920	5,068
2,731	2,719	2,764	2,889	770	647	4,306
2,021	2,183	2,111	1,975	365	299	2,639
2,870	2,840	2,714	2,524	646	569	3,739
3,928	3,834	3,772	3,736	1,005	751	5,492
4,683	4,680	4,672	4,476	943	651	6,070
3,611	3,505	3,224	2,974	989	671	4,634
41,791	40,899	40,484	38,690	12,354	9,813	60,857
1,356	1,327	1,314	1,255			
22.7	21.8	21.3	19.6			

○ 62年度より、貸出券の有効期間が3年間(平成2年3月まで)となった。

平成元年度 館別・町別登録者数（成人・児童別）（表Ⅵ-3）その1

館名 区分 町名	中央館			国領分館			つつじヶ丘分館		
	成人	児童	計	成人	児童	計	成人	児童	計
飛田給 (野水・西町を含む)	100	36	136	2		2			
上石原	122	29	151	3		3	2		2
下石原	191	69	260	5		5			
多摩川	264	91	355	9	6	15			
富士見町	165	33	198	3		3			
小島町	279	111	390	2	1	3			
布田	293	87	380	9	1	10			
調布ヶ丘	193	58	251	2	3	5			
国領町	269	66	335	379	194	573	9	5	14
八雲台	39	11	50	32	9	41			
柴地	216	51	267	43	12	55			
深大寺元町	76	20	96	2		2			
深大寺北町	30	5	35	1		1	1		1
深大寺東町	28	4	32						
深大寺南町	28	1	29						
佐須町	47	3	50	5		5			
柴崎	50	3	53	11	10	21	4		4
入間町	38	3	41	2		2	8	7	15
東つつじヶ丘	42	3	45	3		3	20	7	27
西つつじヶ丘	85	9	94	11	1	12	127	110	237
若葉町	35	3	38	1	1	2	3	4	7
仙川町	27	2	29				1	2	3
緑ヶ丘	21		21	1		1			
菊野台	67	10	77	96	35	131	29	37	66
市内小計	2,705	708	3,413	622	273	895	204	172	376
調布市外	179		179	22		22	13	10	23
合計	2,884	708	3,592	644	273	917	217	182	399

深大寺分館			神代分館			宮の下分館		
成人	児童	計	成人	児童	計	成人	児童	計
1		1				51	51	102
2		2	1		1	135	68	203
			1	1	2	36	38	74
						101	105	206
						4		4
			1		1	15	7	22
			1	1	2	1	2	3
3		3				2		2
6		6	2	2	4	2		2
			1		1			
2		2	1		1	2		2
18	10	28	3	1	4	1		1
120	47	167	2		2			
90	71	161	54	37	91			
6	6	12	27	15	42			
			11		11			
3	1	4	169	111	280	1		1
			2	1	3	1	2	3
			24	14	38			
			218	95	313			
			6	3	9			
			5	1	6			
			1		1			
			24	6	30			
251	135	386	554	288	842	352	273	625
7	4	11	63	15	78	19	3	22
258	139	397	617	303	920	371	276	647

平成元年度 館別・町別登録者数(成人・児童別) (表VI-3) その2

館名 区分 町名	緑ヶ丘分館			富士見分館			若葉分館		
	成人	児童	計	成人	児童	計	成人	児童	計
飛田給 (野水・西町を含む)	1		1	4		4			
上石原	1		1	14	2	16		1	1
下石原				32	41	73	1		1
多摩川				1		1			
富士見町				194	136	330			
小島町				20	37	57			
布田				2	7	9			
調布ヶ丘	4		4	18	11	29	4		4
国領町	3	3	6	3		3	6	3	9
八雲台									
染地							1		1
深大寺元町	1		1	15	11	26			
深大寺北町				3	2	5			
深大寺東町								2	2
深大寺南町							1		1
佐須町				1		1			
柴崎	1		1				2		2
入間町	2		2				133	90	223
東つつじヶ丘	2		2				84	40	124
西つつじヶ丘	2	1	3				65	25	90
若葉町	4		4				116	57	173
仙川町	32	20	52				40	31	71
緑ヶ丘	136	61	197				6		6
菊野台							4	1	5
市内小計	189	85	274	307	247	554	463	250	713
調布市外	19	6	25	11	4	15	28	10	38
合計	208	91	299	318	251	569	491	260	751

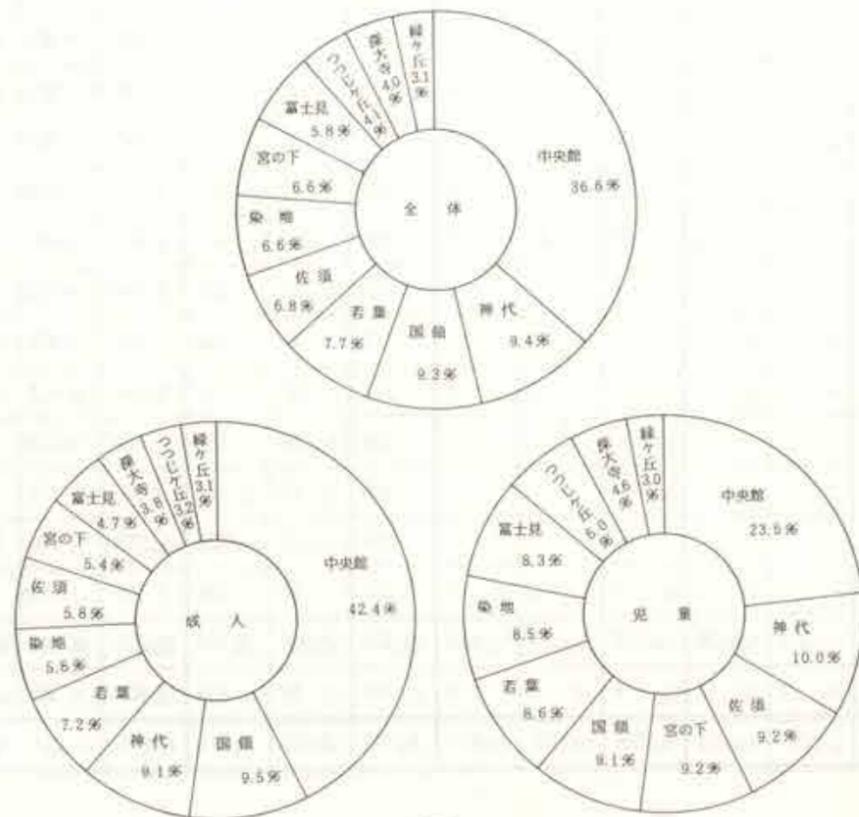
染地分館			佐須分館			合計			S62・63・H1累計		
成人	児童	計	成人	児童	計	成人	児童	計	成人	児童	計
	1	1	1		1	160	88	248	802	475	1,277
2		2				282	100	382	1,663	792	2,455
						266	149	415	1,377	773	2,150
11	11	22	1		1	387	213	600	2,142	1,409	3,551
1		1	8	1	9	375	170	545	2,092	1,170	3,262
1		1	1	3	4	319	159	478	1,765	841	2,606
7	10	17	14	7	21	327	115	442	1,862	798	2,660
1		1	48	47	95	275	119	394	1,384	685	2,069
46	22	68	36	24	60	761	319	1,080	4,193	2,599	6,792
			36	38	74	108	58	166	537	283	820
306	206	512	3		3	574	269	843	4,455	2,384	6,839
1	1	2	15	10	25	132	53	185	778	361	1,139
			9	2	11	166	56	222	1,099	574	1,673
			21	13	34	193	127	320	1,096	676	1,772
			32	17	49	94	39	133	547	317	864
1		1	114	69	183	179	72	251	1,219	525	1,744
3		3	37	41	78	281	166	447	1,659	909	2,568
1		1	1		1	188	103	291	1,094	800	1,894
2		2	2	1	3	179	65	244	838	461	1,299
			4	2	6	512	243	755	3,094	1,813	4,907
						165	68	233	1,058	519	1,577
						105	56	161	595	311	906
						165	61	226	1,293	766	2,059
2		2	5	2	7	227	91	318	1,183	654	1,837
385	251	636	388	277	665	6,420	2,959	9,379	37,825	20,895	58,720
11	4	15	6		6	378	56	434	1,821	316	2,137
396	255	651	394	277	671	6,798	3,015	9,813	39,646	21,211	60,857

平成元年度 館別・職業別登録者数 (表VI-4)

職業別	館名	中央館	国領	つつじヶ丘	深大寺	神代	宮の下	緑ヶ丘	富士見	若葉	染地	佐須	合計	%
中学生		165	67	23	30	70	56	16	54	78	41	56	656	6.7(9.7)
高校生		343	68	6	40	67	36	18	38	35	46	39	736	7.5(10.8)
学生		921	103	8	26	86	30	28	32	68	40	57	1,399	14.3(20.6)
勤人		635	166	57	55	141	96	41	77	123	92	81	1,564	15.9(23.0)
主婦		556	174	101	80	201	125	75	100	153	149	124	1,838	18.7(27.0)
自営		76	19	9	7	17	7	12	6	9	9	5	176	1.8(2.6)
その他		80	15	3	5	11	6	5	2	10	7	10	154	1.6(2.3)
無職		108	32	10	15	24	15	13	9	15	12	22	275	2.8(4.0)
小計		2,884	644	217	258	617	371	208	318	491	396	394	6,798	69.3(100)
児童		708	273	182	139	303	276	91	251	260	255	277	3,015	30.7
合計		3,592	917	399	397	920	647	299	569	751	651	671	9,813	100
%		36.6	9.3	4.1	4.0	9.4	6.6	3.1	5.8	7.7	6.6	6.8	100	

○ () 内は成人の中での割合。

平成元年度 登録者の館別比率 (図VI-1)



2 市内小中学生の登録状況 (昭和62年度調査結果)

3年に1回の割合で実施しているこの調査は、昭和43、47、50、53、56、59年度に続き、今回で7回目になる。調査は、個人貸出申込書の登録データをもとに、各学校別・学年別に集計する方法で行った。また、未就学児の登録状況についても、同時に調査を行った。

小中学生の登録状況をみると、市内に点在する各図書館と学校との距離が近いほど登録率が高く、よく利用されていることがわかる。これは、地理的に近い館ほど、個人での読書のほかにも、宿題や修学旅行・文化祭準備などを目的としたグループでの利用が多くなるためである。

また、小学生は全年齢70%以上、特に3年生から6年生まででは75%を超える高い登録率を示している。各図書館がサービスエリア内の小学校と協力して、3年生を対象とした図書館利用のガイダンスをはじめ、ブックトーク・読み聞かせ・ストーリーテリング等によって読書の動機づけを行っている成果が、この数字となってあらわれているといえよう。

しかし、今回の調査結果を前回と比較すると、登録者数・登録率とも全般に減少の傾向にあることがわかる。これには、児童数の低下とともに、最近の子どもたちが塾や習い事などで忙しく、ゆとりがなくなってきたことが影響していると思われる。子どもたちの生活をとりまく状況を考慮しつつ、継続的に一層工夫した働きかけをしていく必要がある。

昭和62年度 館別未就学児登録者数 (表VI-5)

年齢	中央館	国領分館	つつじヶ丘分館	深大寺分館	神代分館	宮の下分館	緑ヶ丘分館
0歳	14	9	9	4	13	16	5
1歳	63	33	17	14	22	37	16
2歳	95	34	51	19	62	54	28
3歳	157	67	59	44	88	76	33
4歳	158	91	80	52	81	89	45
5歳	183	96	80	56	84	80	51
6歳	42	25	24	16	17	31	21
計	712	355	320	205	367	383	199

年齢	館名	富士見分館	若葉分館	染地分館	佐須分館	計	年齢別人口	登録率
0歳		10	9	10	5	104	2,083	5.0
1歳		29	12	24	13	280	2,087	13.4
2歳		44	57	69	36	549	2,008	27.3
3歳		91	96	95	70	876	2,091	41.9
4歳		109	84	118	77	984	2,096	46.9
5歳		95	101	146	99	1,071	2,005	53.4
6歳		23	46	34	27	306	2,035	(15.0)
計		401	405	496	327	4,170	14,405	(28.9)

○ 6歳児人口は、小学校1年生も含むため、登録率は参考データ。

昭和62年度 学校別・学年別登録者数 (小学校) (表VI-6)

学校名	1 年		2 年		3 年		4 年	
	児童数	登録者数	児童数	登録者数	児童数	登録者数	児童数	登録者数
第一	123	91	145	83	119	81	114	90
第二	58	41	49	39	50	34	63	56
第三	115	75	92	56	107	81	110	86
八雲台	114	75	126	89	122	84	122	75
富士見台	109	63	113	73	112	84	113	69
滝坂	104	58	123	76	107	48	113	76
深大寺	59	24	67	25	60	36	75	29
上ノ原	151	112	150	105	140	103	144	113
石原	108	75	123	95	102	85	107	66
若葉	90	86	110	113	110	124	103	107
野川	83	74	77	74	80	84	95	120
緑ヶ丘	66	63	84	87	70	70	101	105
染地	61	44	71	60	61	54	62	58
北ノ台	99	62	112	65	108	75	146	84
多摩川	93	54	96	65	95	53	94	65
杉森	122	134	143	146	135	147	141	130
大町	70	53	67	56	73	57	64	49
飛田給	61	28	73	35	62	34	78	31
柏野	81	66	70	53	87	78	67	59
国領	71	68	111	110	117	123	104	97
布田	71	47	89	59	84	58	92	57
小計	1,909	1,393	2,091	1,564	2,001	1,593	2,108	1,622
登録率	73.0		74.8		79.6		76.9	
桐朋		12		14		12		14
見華		13		12		28		16
市外		31		37		39		48
合計		1,449		1,627		1,672		1,700

5 年		6 年		合計		登録率
児童数	登録者数	児童数	登録者数	児童数	登録者数	
143	110	139	84	783	539	68.8
66	63	70	43	356	276	77.5
114	90	131	101	669	489	73.1
100	66	106	57	690	446	64.6
94	55	109	55	650	399	61.4
102	71	103	64	652	393	60.3
75	37	68	46	404	197	48.8
149	122	152	89	886	644	72.7
122	93	131	68	693	482	69.6
117	134	111	109	641	673	105.0
79	85	70	81	484	518	107.0
98	96	107	111	526	532	101.1
75	84	97	96	427	396	92.7
138	74	127	65	730	425	58.2
74	50	114	100	566	387	68.4
147	162	138	121	826	840	101.7
68	68	79	58	421	341	81.0
71	31	71	41	416	200	48.1
79	60	79	47	463	363	78.4
128	210	142	194	673	802	119.2
101	65	83	53	520	339	65.2
2,140	1,826	2,227	1,683	12,476	9,681	77.6
85.3		75.6		77.6		
15		21		88		
22		13		104		
35		54		244		
1,898		1,771		10,117		

○登録率が100%以上になるのは、複数館で登録できるため。

昭和62年度 学校別・館別登録者数 (小学校) (表VI-7)

学校名	中央館		国領分館		つつじヶ丘分館		深大寺分館		神代分館	
	登録者数	登録率	登録者数	登録率	登録者数	登録率	登録者数	登録率	登録者数	登録率
第一	298	38.1	1	0.1			6	0.8		
第二	104	29.2	155	43.5			1	0.3		
第三	88	13.2								
八雲台	139	20.1	65	9.4						
富士見台	380	58.5	2	0.3						
滝坂	4	0.6	1	0.2	9	1.4			125	19.2
深大寺	10	2.5					82	20.3	12	3.0
上ノ原	7	0.8	18	2.0	2	0.2	6	0.7	521	58.8
石原	22	3.2								
若葉	10	1.6	3	0.5	1	0.2				
野川	10	2.1	5	1.0	451	93.2	2	0.4		
緑ヶ丘										
染地	23	5.4	6	1.4						
北ノ台	4	0.5					412	56.4	2	0.3
多摩川	102	18.0	2	0.4						
杉森	55	6.7	18	2.2						
大町	15	3.6	82	19.5	216	51.3	1	0.2	17	4.0
飛田給	44	10.6								
柏野	10	2.2	2	0.4	2	0.4	2	0.4	1	0.2
国領	52	7.7	587	87.2	32	4.8	4	0.6	14	2.1
布田	201	38.7	2	0.4						
小計	1,578		949		713		516		692	
桐朋	17		6				2		12	
晃華	23		12		1		4		20	
市外	41		10		20		19		32	
合計	1,659		977		734		541		756	

宮の下分館		緑ヶ丘分館		富士見分館		若葉分館		染地分館		佐須分館	
登録者数	登録率	登録者数	登録率	登録者数	登録率	登録者数	登録率	登録者数	登録率	登録者数	登録率
2	0.3	1	0.1	183	23.4			2	0.3	46	5.9
								10	2.8	6	1.7
383	57.2			18	2.7						
										242	35.1
11	1.7			3	0.5			2	0.3	1	0.2
		14	2.1			239	36.7			1	0.2
				4	1.0			4	1.0	85	21.0
		1	0.1	1	0.1					88	9.9
				457	65.9					3	0.4
						658	102.7	1	0.2		
1	0.2	2	0.4			38	7.9	5	1.0	4	0.8
		524	99.6			6	1.1			2	0.4
1	0.2							366	85.7		
				5	0.7					2	0.3
280	49.4			2	0.4					1	0.2
2	0.2							763	92.4	2	0.2
1	0.2	1	0.2	1	0.2	2	0.5	1	0.2	4	1.0
150	36.1			6	1.4						
3	0.6	2	0.4	1	0.2	2	0.4	2	0.4	336	72.6
3	0.4	7	1.0	13	1.9	10	1.5	29	4.3	51	7.6
				2	0.4			133	25.6	1	0.2
837		552		696		955		1,318		875	
5		12				23		8		3	
5		3		3		8		4		21	
12		42		10		30		18		10	
859		609		709		1,016		1,348		909	

昭和62年度 学校別・学年別登録者数 (中学校) (表VI-8)

学年 学校名	1年		2年		3年		計		登録率
	生徒数	登録者数	生徒数	登録者数	生徒数	登録者数	生徒数	登録者数	
調布	349	202	350	82	361	108	1,060	392	37.0
神代	394	153	420	162	426	105	1,240	420	33.9
第三	374	247	440	193	442	126	1,256	566	45.1
第四	258	195	286	207	319	172	863	574	66.5
第五	323	229	320	174	342	123	985	526	53.4
第六	214	127	218	102	201	81	633	310	49.0
第七	195	99	186	101	202	60	583	260	44.6
第八	129	83	131	38	127	48	387	169	43.7
小計	2,236	1,335	2,351	1,059	2,420	823	7,007	3,217	45.9
登録率	59.7		45.0		34.0		45.9		
桐朋		33		20		16		69	
見華		13		1		8		22	
市外		143		118		76		337	
合計		1,524		1,198		923		3,645	

昭和62年度 学校別・館別登録者数 (中学校) (表VI-9)

館名 学校名	中央館		国領分館		つつじヶ丘分館		深大寺分館		神代分館	
	登録者数	登録率	登録者数	登録率	登録者数	登録率	登録者数	登録率	登録者数	登録率
調布	113	10.7	6	0.6			5	0.5		
神代	10	0.8	3	0.2	1	0.1	146	11.8	178	14.4
第三	100	8.0	34	2.7	2	0.2	2	0.2	2	0.2
第四	13	1.5	6	0.7	83	9.6			20	2.3
第五	144	14.6	6	0.6	2	0.2			2	0.2
第六	17	2.7	236	37.3	29	4.6			4	0.6
第七	44	7.5	34	5.8					3	0.5
第八	3	0.8							1	0.3
小計	444		325		117		153		210	
桐朋	18		2		1		3		10	
見華	6		1				2		5	
市外	87		22		2		17		43	
合計	555		350		120		175		268	



中学生通信「ぶちねこ便」編集風景

宮の下分館		緑ヶ丘分館		富士見分館		若葉分館		染地分館		佐須分館	
登録者数	登録率	登録者数	登録率	登録者数	登録率	登録者数	登録率	登録者数	登録率	登録者数	登録率
13	1.2			228	21.5			2	0.2	25	2.4
1	0.1	1	0.1	4	0.3	1	0.1	2	0.2	73	5.9
2	0.2	2	0.2	2	0.2	1	0.1	416	33.1	3	0.2
		2	0.2			448	51.9			2	0.2
361	36.6	1	0.1	6	0.6			2	0.2	2	0.2
1	0.2	2	0.3	1	0.2	7	1.1	3	0.5	10	1.6
				1	0.2	1	0.2			177	30.4
		156	40.3			9	2.3				
378		164		242		467		425		292	
4		3		2		14		6		6	
		2				2				4	
25		34		19		36		31		21	
407		203		263		519		462		323	

3 貸出

平成元年度 館別個人貸出冊数 (表VI-10)

資料別	館名	中央館	国領分館	つつじヶ丘分館	深大寺分館	神代分館	宮の下分館
成人	雑誌	6,307	2,914	4,647	2,338	3,494	3,263
	図書	92,430	34,709	20,490	21,761	34,813	29,124
小計		98,737	37,623	25,137	24,099	38,307	32,387
児童図書		43,618	24,035	24,157	13,526	24,570	26,937
合計		142,355	61,658	49,294	37,625	62,877	59,324

○ 62年度より1人3冊貸出になった。

平成元年度 館別団体貸出冊数 (表VI-11)

団体別	館名	中央館	国領分館	つつじヶ丘分館	深大寺分館	神代分館
団体数		52	10	2	4	5
貸出冊数	学校	1,480	130		150	
	保育園	127	866	116	67	330
	その他		2		809	348
	合計	1,607	998	116	1,026	678

○ 若葉分館は、若葉小学校全クラスに読書の時間を通して定期的にクラス単位の貸出をしている。

○ その他は、文庫・幼稚園・学童保育所・児童館・公民館等。

平成元年度 館別予約図書受付冊数 (表VI-12)

資料別	館名	中央館	国領分館	つつじヶ丘分館	深大寺分館	神代分館
成人図書		3,989	997	1,285	634	1,226
児童図書		482	176	143	150	166
合計		4,471	1,173	1,428	784	1,392

○ 予約図書には、リクエスト図書も含む。

緑ヶ丘分館	富士見分館	若葉分館	染地分館	佐須分館	計	%
3,054	3,306	3,341	4,707	3,444	40,815	5.9
21,596	29,761	26,567	39,805	26,327	377,383	54.1
24,650	33,067	29,908	44,512	29,771	418,198	60.0
12,103	24,749	22,286	36,718	25,954	278,653	40.0
36,753	57,816	52,194	81,230	55,725	696,851	100.0

宮の下分館	緑ヶ丘分館	富士見分館	若葉分館	染地分館	佐須分館	計
13	7	21	23	6	2	145
832	29	760	9,481	107		12,969
367	623	365	567			3,428
86	148		300	841	15	2,549
1,285	800	1,125	10,348	948	15	18,946

宮の下分館	緑ヶ丘分館	富士見分館	若葉分館	染地分館	佐須分館	計
932	689	872	456	1,761	704	13,545
386	215	328	371	613	213	3,243
1,318	904	1,200	827	2,374	917	16,788

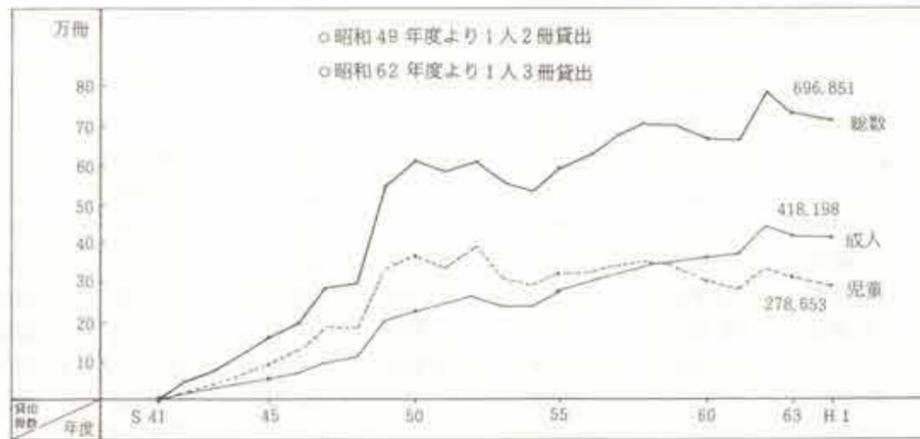
年度別・館別個人貸出冊数 (表VI-13)

館名		年度	S 41	54	55	56	57
成人	中央館		10,115	72,697	75,135	81,207	77,898
	国領分館			25,650	26,454	29,727	28,635
	つつじヶ丘分館			13,637	17,597	21,682	20,248
	深大寺分館			19,251	21,032	22,244	24,494
	神代分館			27,945	29,776	30,331	29,643
	宮の下分館			16,395	18,333	19,243	20,555
	緑ヶ丘分館			19,417	16,950	17,902	18,258
	富士見分館			16,564	19,351	20,862	24,009
	若葉分館			29,557	28,267	30,666	29,685
	染地分館				25,082	29,569	33,595
佐須分館						19,175	
	小計		10,115	241,113	277,977	303,433	326,195
	指数		100	2,384	2,748	3,000	3,225
児童	中央館		5,587	54,480	47,694	51,262	47,758
	国領分館			28,967	30,426	38,058	33,642
	つつじヶ丘分館			32,467	31,547	32,429	30,961
	深大寺分館			26,755	26,183	24,652	24,963
	神代分館			30,927	30,888	29,120	27,238
	宮の下分館			28,054	28,184	26,709	24,641
	緑ヶ丘分館			35,694	29,027	25,230	24,554
	富士見分館			29,463	28,989	29,789	34,783
	若葉分館			28,974	24,949	28,137	28,039
	染地分館				40,164	41,791	47,613
佐須分館						27,434	
	小計		5,587	295,781	318,051	327,177	351,626
	指数		100	5,294	5,693	5,856	6,294
合計	中央館		15,702	127,177	122,829	132,469	125,656
	国領分館			54,617	56,880	67,785	62,277
	つつじヶ丘分館			46,104	49,144	54,111	51,209
	深大寺分館			46,006	47,215	46,896	49,457
	神代分館			58,872	60,664	59,451	56,881
	宮の下分館			44,449	46,517	45,952	45,196
	緑ヶ丘分館			55,111	45,977	43,132	42,812
	富士見分館			46,027	48,340	50,651	58,792
	若葉分館			58,531	53,216	58,803	57,724
	染地分館				65,246	71,360	81,208
佐須分館						46,609	
	小計		15,702	536,894	596,028	630,610	677,821
	指数		100	3,419	3,796	4,016	4,317

58	59	60	61	62	63	H 1
75,104	75,986	74,269	77,669	97,092	104,369	98,737
31,562	31,545	34,245	33,871	37,097	38,485	37,623
20,909	20,152	19,448	18,557	24,258	24,072	25,137
25,273	24,533	23,229	22,342	26,013	21,991	24,099
29,776	31,748	33,899	35,477	40,647	30,688	38,307
22,058	23,175	25,553	29,466	35,673	28,492	32,387
20,764	23,263	25,417	26,743	29,159	26,175	24,650
26,382	26,415	27,278	27,704	34,640	34,544	33,067
28,911	31,659	32,642	32,827	38,729	36,015	29,908
39,883	40,194	43,764	47,192	52,956	48,186	44,512
28,811	30,152	28,587	26,835	32,082	29,743	29,771
349,433	358,822	368,331	378,683	448,346	422,760	418,198
3,455	3,547	3,641	3,744	4,432	4,180	4,134
44,649	41,706	37,722	39,411	50,528	46,829	43,618
36,399	32,668	31,239	26,668	29,339	27,795	24,035
32,715	30,085	24,250	21,309	25,534	26,337	24,157
24,305	22,589	18,474	15,232	17,800	13,923	13,526
24,868	23,577	22,250	22,316	26,878	18,649	24,570
23,227	23,331	21,682	22,555	29,724	25,106	26,937
24,522	24,091	21,125	18,598	19,336	15,441	12,103
33,231	29,886	30,394	29,712	32,948	27,887	24,749
27,081	30,582	26,148	24,337	29,028	30,605	22,286
50,678	48,247	44,680	44,765	51,330	42,153	36,718
30,984	31,203	26,377	23,198	28,226	27,807	25,954
352,659	337,965	304,341	288,101	340,671	302,532	278,653
6,312	6,049	5,447	5,157	6,098	5,415	4,988
119,753	117,692	111,991	117,080	147,620	151,198	142,355
67,961	64,213	65,484	60,539	66,436	66,280	61,658
53,624	50,237	43,698	39,866	49,792	50,409	49,294
49,578	47,122	41,703	37,574	43,813	35,914	37,625
54,644	55,325	56,149	57,793	67,525	49,337	62,877
45,285	46,506	47,235	52,021	65,397	53,598	59,324
45,286	47,354	46,542	45,341	48,495	41,616	36,753
59,613	56,301	57,672	57,416	67,588	62,431	57,816
55,992	62,241	58,790	57,164	67,757	66,620	52,194
90,561	88,441	88,444	91,957	104,286	90,339	81,230
59,795	61,355	54,964	50,033	60,308	57,550	55,725
702,092	696,787	672,672	666,784	789,017	725,292	696,851
4,471	4,438	4,284	4,246	5,025	4,619	4,438

○ 62年度より1人3冊貸出になった。

年度別個人貸出冊数の推移 (図VI-2)



図書館活動5カ年間の実績 (表VI-14)

年 度	S 60	61	62	63	H 1
登 録 率 ($\frac{\text{市内登録者数}}{\text{人 口}} \times 100$)	21.1	20.6	19.6		
市民1人当りの貸出冊数 ($\frac{\text{貸出冊数}}{\text{人 口}}$)	3.69	3.61	4.23	3.88	3.63
登録者1人当りの貸出冊数 ($\frac{\text{貸出冊数}}{\text{登録者数}}$)	16.9	16.9	20.9		
1日当りの貸出冊数 ($\frac{\text{貸出冊数}}{\text{開館日数}}$)	240	236	282	275	248
1冊当りの利用回数 ($\frac{\text{貸出冊数}}{\text{蔵書数}}$)	2.0	1.9	2.1	1.8	1.5
市民1人当りの年間受入冊数 ($\frac{\text{年間受入冊数}}{\text{人 口}}$)	0.21	0.21	0.26	0.30	0.34
登録者1人当りの年間受入冊数 ($\frac{\text{年間受入冊数}}{\text{登録者数}}$)	0.94	0.97	1.28		
市民1人当りの蔵書冊数 ($\frac{\text{蔵書数}}{\text{人 口}}$)	1.84	1.91	2.03	2.13	2.35
市民1人当りの図書購入費 ($\frac{\text{図書購入費}}{\text{人 口}}$)	267	385	449	521	614

- 貸出冊数は団体貸出冊数をも含む。
- 蔵書数、年間受入冊数、図書購入費は、61年度以降新中央図書館分も含む。
- 62年度より貸出券の有効期間が3年間(平成2年3月まで)となった。

VII ハンディキャップサービス

公共図書館は、「すべての住民の学習権の保障」「いつでも・どこでも・だれでも利用できる図書館」を目標としている。その意味で、ハンディキャップサービス(以下HCサービス)は、「図書館利用にハンディキャップのある人々へのサービス」として位置づけられ、何ら特殊なサービスではない。そして、その基本となるのは図書館利用のための条件整備をすることである。

調布市立図書館におけるHCサービスは、昭和54年4月打合せ会が発足し、その体制づくりが始まった。内容は、主に視覚障害者を対象とした、朗読サービスと点訳サービスが中心である。ここ数年、具体的に他の図書館と比較しても、点訳の枚数、対面朗読の実施数、テープ雑誌の貸出数などは飛躍的な伸びを示している。利用者の増加に伴い業務量も増大しており、それに対応する体制も整備されなければならない。

これまでのHCサービスは視覚障害者を中心にすすめてきたが、今後は、視覚障害者以外についてもサービスの範囲を広げ、「だれでも」利用できる図書館を目指していく必要がある。

1 朗読サービス

昭和57年から朗読ボランティア養成講座を開始した。前年度の中級に続き、平成元年度も中級朗読ボランティア講座を実施した。また、総合福祉センター(対面朗読室)、専用施設のある佐須分館及び国領分館おはなし室で対面朗読を行った。今後は、どこの館でも、利用者の希望に応えられるような施設面の条件整備が必要である。また元年度は、今後のHCサービス長期計画の参考にするために、練馬区立平和台図書館を見学した。

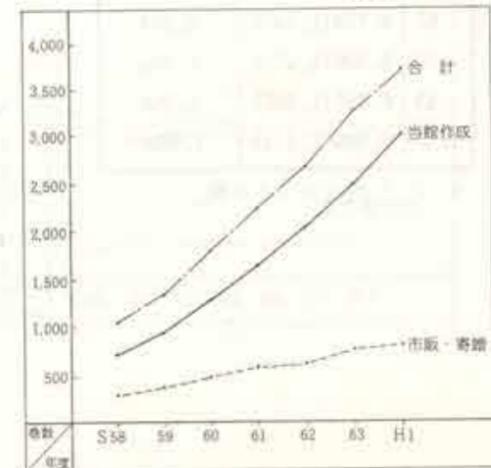
録音テープ所蔵巻数の推移

(表VII-1)

年度	当館作成	市販・寄贈	合 計
S 58	735(208)	305(249)	1,040(457)
59	948(244)	390(320)	1,338(564)
60	1,276(260)	484(369)	1,760(629)
61	1,631(305)	581(405)	2,212(710)
62	2,031(362)	604(428)	2,635(790)
63	2,486(432)	747(479)	3,233(911)
H 1	3,012(509)	808(531)	3,820(1,040)

○ ()内はタイトル数。

(図VII-1)

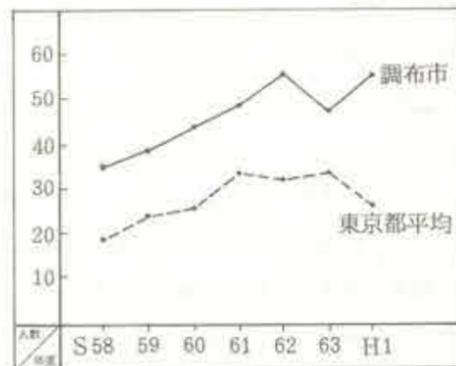


録音テープ利用者の推移

(表Ⅶ-2)

年度	調布市	東京都平均
S58	36	19
59	38	23
60	43	25
61	48	32
62	55	31
63	47	32
H1	55	26

(図Ⅶ-2)



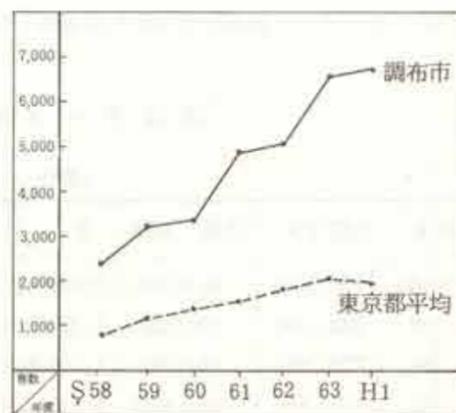
録音テープ貸出巻数の推移

(表Ⅶ-3)

年度	調布市	東京都平均
S58	2,253 (564)	745
59	3,180 (730)	1,163
60	3,391 (839)	1,353
61	4,774 (1,143)	1,564
62	5,026 (1,171)	1,765
63	6,497 (1,592)	1,969
H1	6,569 (1,871)	1,952

○ () 内はタイトル数。

(図Ⅶ-3)



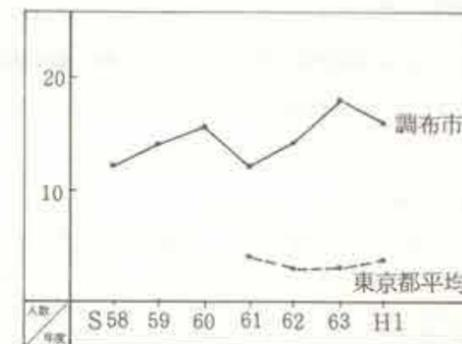
対面朗読利用者数の推移

(表Ⅶ-4)

年度	調布市	東京都平均
S58	12	—
59	14	—
60	15	—
61	12	4
62	14	3
63	18	3
H1	15	4

○ 東京都平均は60年度以前の統計はなし。

(図Ⅶ-4)



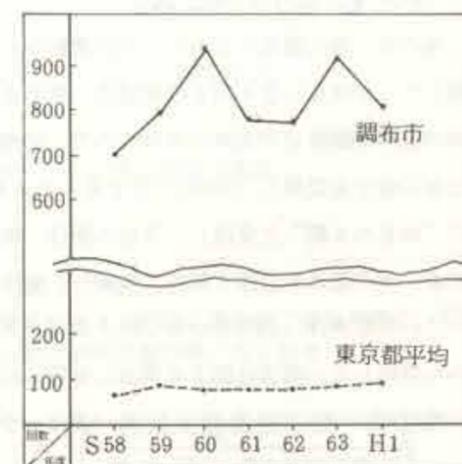
対面朗読実施回数の推移

(表Ⅶ-5)

年度	調布市	東京都平均
S58	699	61
59	791	87
60	932	70
61	781	69
62	773	71
63	916	73
H1	802	87

○ 対面朗読は1回2時間。

(図Ⅶ-5)



2 点訳サービス

昭和55年度から点訳ボランティア養成講座を開始した。点訳プライベートサービスの利用は、順調に伸びている。

なお点字図書は購入していないが、総合福祉センター（対面朗読室）に、各関係機関から送られてくる目録類や、ボランティア作成による点字図書を置いて利用に供している。

点訳サービス実施状況 (表Ⅶ-6)

年度	利用者数	リクエスト数	点訳枚数 (両面)	点訳 ボランティア	点字本の所蔵	
					自館作成	寄贈
S61	5人	16件	1,200枚	14人	30タイトル64冊	108タイトル146冊
62	7人	22件	2,637枚	28人	30タイトル64冊	109タイトル166冊
63	8人	31件	1,935枚	20人	30タイトル64冊	110タイトル172冊
H1	6人	32件	2,890枚	20人	30タイトル64冊	112タイトル174冊

3 大型活字本・拡大写本サービス

平成元年度から新中央図書館用に大型活字本の収集を始めた。それらを国領分館で展示し貸出したところ、中・高年の市民に好評だった。今後はこの成果をふまえ、他の分館においても展示し、潜在的利用者の掘り起しをする必要がある。

拡大写本は、弱視者からの要望に応じて、昭和62年度から市内の拡大写本作成グループ“そよかぜ”に作成を依頼している。

4 子どもへのサービス

布の本・布の遊具を都内の公共図書館から借用し、市内のあゆみ学園（障害児の通所訓練施設）で、おはなし会4回と団体貸出（布の本・布の遊具、児童図書）を60回行った。布の本・布の遊具は健常児にも楽しまれるので、図書館で行っている定例おはなし会や保育園児へのおはなし会でも使用し（50回）、子どもたちに喜ばれた。また、布の本製作ボランティアグループ“おもちゃ箱”と交流し、今後の製作・修理依頼などの協力関係を持った。将来的には、布の本・布の遊具を自館で製作、収集し、貸出していきたい。

さわる絵本は、利用者から引続き要望があったが、所蔵していないため、都内の公共図書館から借用して、国領分館より貸出しを行った。

布の本・布の遊具貸出状況 (表Ⅶ-7)

年度	利用者数	貸出数
1	1団体 (約50人)	22タイトル

さわる絵本貸出状況 (表Ⅶ-8)

年度	利用者数	貸出数
S61	2人	19冊
62	1人	18冊
63	1人	18冊
H1	1人	13冊

5 PR活動

利用者の拡大を目指すために、市内在住の1・2・3級の視覚障害者に、録音テープ目録を毎年作成し送付している。昭和54年度から、調布盲人福祉協会の声のニュースに、図書館のお知らせを入れていたが、平成元年9月より、図書館から録音テープの利用者全員に直接、声のお知らせ「オカリナ通信」を発送することになった。その結果、リクエストやレファレンスが今までより多く寄せられるようになった。

事業名	内容	備考
オカリナ通信	○ 新刊の紹介 ○ 新しいテープのお知らせ ○ 新着図書案内 など	利用者 (55人) テープ版 毎月
図書館だより	○ 図書館発行の広報 (全8ページ)	利用者 (55人) テープ版 年4回
利用案内 録音テープ目録 (元年度版)	○ 福祉事務所の協力を得て市内在住の1・2・3級の方と現利用者 (150名)に発送	墨字版 テープ版 点字版 (希望者) 年1回
市報への掲載	○ 利用案内 ○ 講座の案内	年2回

6 ボランティアの養成とボランティアグループ

事業名	期日・参加人数・会場	講師及び内容
朗読ボランティアの集い	4月6日 40人 市民センター	朗読ボランティアが集まり、情報交換等の懇談と、ボランティアの登録手続
点訳ボランティア登録会	4月13日 20人 公民館	点訳ボランティアの登録手続
朗読ボランティア養成講座 (中級)	元年5月26日～ 2年1月26日 25人 (全14回) 総合福祉センター	朝日カルチャーセンター講師 武藤 治子 朗読テープを作る技術の講習
「参考図書の使い方」講座	2月9日 12人 公民館	講師 職員 朗読ボランティア養成講座修了者を対象に、朗読に必要な参考図書の使い方を説明

グループ名	人数・定例日・会場	代表者	内容
調布ブライユ (点訳)	20人 第2・3木曜日 総合福祉センター・公民館	榎本 道子	打ち合せと校正
ちょうふ水曜会 (朗読)	25人 第4水曜日 総合福祉センター	海藤 ルミ	作製テープを聞きあい、講評する

VIII 集会・学習活動

1 集会・学習活動の状況

調布市立図書館では、社会教育の実施機関として市民の生涯学習を促進するため、様々な事業を展開してきた。

現在行っている事業は、図書館が主催する事業と、図書館を拠点に活動している“調布ブッククラブ”の事業とに大別することができる。図書館は話題性の高い作品などをテーマにした講演会や講座を中心に実施した。一方、調布ブッククラブは、市民の学習、創造の場として活動を行い、会員個々の生涯学習の確立に努めた。

なお、1年間の学習の総まとめとして実施した「図書館まつり」は、18回目となった。

2 行事

(1) 講演会

事業名	期日・参加人数・会場	講師及び内容
公開講演会	4月9日 40人 総合福祉センター	立正大学教授 保昌 正夫 「横光利一とその周辺『昭和』文学をふりかえる」
公開講演会	4月12日 40人 総合福祉センター	早稲田大学教授 興津 要 「江戸庶民文化と文芸—ことばと心—」
文芸講演会	4月28日 60人 中央公民館	俳人協会会長 澤木 欣一 「山本健吉の世界」
文化講演会	7月1日 80人 総合福祉センター	詩人・明治学院大学教授 天沢退二郎 「今、なぜ宮澤賢治か」
文芸講演会	7月8日 80人 総合福祉センター	鶴見大学教授 山下 一海 「『奥の細道』軽みといのち」
講演会	9月2日 50人 総合福祉センター	67歳学生 嶋村幸治郎 「私の生涯学習」
講演会	9月30日 100人 市役所大会議室	北海道家庭学校校長 谷 昌恒 「不平等に生きて学ぶ」
文芸講演会	10月12日 70人 中央公民館	作家 谷崎 終平 「わが兄、潤一郎と作品」
文化講演会	11月25日 50人 総合福祉センター	版画家 北岡 文雄 「関野準一郎の版画世界」
文化講演会	12月10日 40人 市民センター	作家 やなせたかし 「私のメルヘンの世界」

(2) 座談会

事業名	期日・参加人数・会場	講師及び内容
座談会	8月9日 200人 グリーンホール(小)	放送作家 杉山 義法 「時代に生きた男たちのドラマ」
新春座談会	1月13日 110人 総合福祉センター	作家 江國 滋 「新年の賦」

(3) 講座・講習会

事業名	期日・参加人数・会場	講師及び内容
「昭和」文学講座(全5日)	5/14,6/11,7/9,9/10,10/8 毎回40人 総合福祉センター	立正大学教授 保昌 正夫 「『昭和』の文学をふりかえる」
子どもの本に親しむ会	10月13日 50人 10月27日 50人 市民センター	①「実際にお話を聞こう」 図書館職員 ②「お話の大切さを知ろう」 白百合女子大学講師 山口 雅子

(4) 著者を囲む会

事業名	期日・参加人数・会場	講師及び内容
第1回	6月4日 50人 総合福祉センター	作家 三田 誠広 「愛の夢」
第2回	11月4日 60人 総合福祉センター	作家 黒井 千次 「たまらん坂」

(5) 平和施策事業

事業名	期日・参加人数・会場	講師及び内容
国際平和講演会	9月16日 100人 総合福祉センター	チャイルドケア財団理事 ブラティープ・ウンソンタム 「タイのスラムに生きる」

(6) 映画会

事業名	期日・参加人数・会場	講師及び内容
名画鑑賞会	6月10日 250人 中央公民館ホール	「名もなく貧しく美しく」 原作・監督 松山 善三 出演 高峰秀子、小林桂樹ほか

名画鑑賞会	7月7日 300人 グリーンホール(小)	「おはん」 原作 宇野 千代 監督 市川 崑 出演 吉永小百合、石坂浩二ほか
名画鑑賞会	9月9日 250人 中央公民館ホール	「月山」 原作 森 敏 監督 村野鉄太郎 出演 河原崎次郎、友里千賀子ほか
名画鑑賞会	10月26日 350人 中央公民館ホール	「父と子」 原作 水上 勉 監督 保坂 延彦 出演 中井貴一、小林桂樹ほか
名画鑑賞会	12月6日 300人 中央公民館ホール	「同胞」 原作・監督 山田 洋次 出演 倍賞千恵子、寺尾聰ほか
名画鑑賞会	3月23日 300人 中央公民館ホール	「時代屋の女房」 原作 村松 友視 監督 森崎 東 出演 夏目雅子、渡瀬恒彦ほか

(7) その他

事業名	期日・会場	内 容
年賀状展	1月13日～28日 中央館	図書館を訪れ、現在活躍されている作家・評論家等の直筆賀状を展示(約100点)
妖怪原画展	8月22日～9月10日 中央館	水木しげる 妖怪原画展 「ゲゲゲの鬼太郎」「絵巻」「がしゃどくろ」等25点

3 第18回図書館まつり

主要テーマ「人から学び本から学ぶ、豊かな生涯学習を目指して」

事業名	期日・参加人数・会場	講師及び内容
講演会	2月2日 250人 グリーンホール(小)	作家 河野多恵子 「谷崎潤一郎の世界」
時局講演会	2月3日 250人 グリーンホール(小)	青山学院大学教授 寺谷 弘壬 「ベレストロイカ後の世界と日本」
人形劇公演	2月4日 250人 中央公民館ホール	人形劇団 れもん座 「うれしいウルくん」ほか
子ども映画会	2月4日 300人 中央公民館ホール	「ゼロ弾きのゴーシュ」 原作 宮澤 賢治
著者を囲む会	2月7日 80人 総合福祉センター	作家 常盤 新平 「罪人なる我等のために」

講演会	2月10日 150人 総合福祉センター	佐久総合病院院長 若月 俊一 「現代の健康とこころ」
座談会	2月14日 100人 中央公民館ホール	劇作家 水木 洋子 「私のシナリオ」
名画鑑賞会	2月16日 1,300人 グリーンホール	「千利休一本覚坊遺文」 原作 井上 靖 監督 熊井 啓 出演 奥田瑛二、萬屋錦之介ほか
朗読の会	2月22日 250人 グリーンホール(小)	「この子たちの夏」 女優 南風 洋子 「よだかの星」 ほか 俳優 金内 吉男
第18回市民句会	2月23日 200人 グリーンホール(小)	「選評と俳話」 澤木欣一、黒田杏子、鷹羽狩行ほか
文芸講演会	2月24日 60人 市民センター	作家 鈴木 貞美 「坂口安吾と現代作家」
第17回市民歌会	2月25日 70人 中央公民館	「選評と講話」 片山貞美、末嶋靖生、宮地伸一
児童文学講演会	3月9日 60人 市民センター	児童文学者 百々佑利子 「児童文学の中の母親」
筆蹟・横顔展	2月1日～2月13日 西友調布店	図書館を訪れた作家・評論家等の筆蹟と横顔展
俳句・短歌展	2月13日～2月28日 中央館	作品発表(俳句・短歌サークル会員)
日本画展	2月15日～2月28日 西友調布店	日本画4サークルの作品発表(指導 田中興之子)

4 調布ブッククラブ

昭和48年2月に図書館を拠点とする学習サークルの連合体として発足した“調布ブッククラブ”は、「読むこと」「書くこと」そして「どう生きるかを考える」をテーマに学習を深め、相互啓発を図る幅広い事業を展開している。

元年度は新たに「江戸庶民文化を学ぶ会」「三日月歌会」「潮流歌会」「ひとむれを読む会」が発足し、合計58のサークル数となった。

なお、元年度の登録会員数は691人であった。

(1) 事業

事業名	期日・参加人数・会場	講師及び内容
たきおん公開合評会	5月14日 30人 中央公民館	社会教育指導員 林 一夫 文芸誌「たきおん23号」

彩雅会 展	5月22日～6月3日 画廊サンマロー	日本画サークル「彩雅会」による作品発表 (指導 田中與之子)
ブッククラブ 総会と座談会	6月17日 110人 総合福祉センター	NHKアナウンサー室顧問 平光淳之助 「ことば今昔」
緑蔭日本画展	7月5日～7月19日 西友調布店	日本画4サークルによる合同作品発表 (指導 田中與之子)
公開合同読書会	9月13日 30人 若葉分館	文芸評論家 遠丸 立 「生き方の深い人、浅い人」(重兼芳子著)
碧彩会 展	10月2日～10月14日 画廊サンマロー	日本画サークル「碧彩会」による作品発表 (指導 田中與之子)
たきおん 公開合評会	11月12日 30人 総合福祉センター	社会教育指導員 林 一夫 文芸誌「たきおん24号」
秋麗日本画展	11月9日～11月21日 西友調布店	日本画4サークルによる合同の作品発表 (指導 田中與之子)
人から学び 本から学ぶ 感謝の集い	12月21日 360人 中央公民館ホール	一第18回図書館まつりに向けて— 落語家 桂 文生
公開合同読書会	3月14日 30人 若葉分館	文芸評論家 遠丸 立 「夜と霧の隅で」 (北 杜夫著)

(2) 刊行物

刊行物名	発行日	内 容
文芸誌 「たきおん23号」	4月16日	創作サークル「たきおん」会員による文芸集
随筆集「扉5号」	5月1日	創作サークル「随想を書く会」会員による随筆集
「調布便箋」発行	10月1日	版画家・関野準一郎の「ちょうふ八景」25ページ
文芸誌 「たきおん24号」	10月8日	創作サークル「たきおん」会員による文芸集
「'90調布 カレンダー」	10月20日	版画家・関野準一郎の「ちょうふ八景」と「新東京」
随筆集「扉6号」	12月1日	創作サークル「随想を書く会」会員による随筆集

(3) 読書グループ

サークル名	定例会・会場・会員数	講 師	テ キ ス ト
あすなろ読書会	第2木曜日 午前 公民館ほか 10人	社会教育指導員 古田 耿介	「ナポレオンと田虫」横光利一著 「蜚川」宮本輝著ほか9冊
柏 読 書 会	第4木曜日 午前 会員宅 8人	社会教育指導員 林 一夫	「三四郎」夏目漱石著ほか10冊
古典文学を読む会	第1土曜日 午後 若葉分館 17人	—————	古典文学の中から「枕草子」を選び、読書会を実施。
互葉読書会	第2水曜日 午後 若葉分館 7人	文芸評論家 遠丸 立	「うたかた」吉本ばなな著「ダンス・ダンス・ダンス」村上春樹著ほか9冊
七宝読書会	第2水曜日 午前 富士見分館 10人	社会教育指導員 古田 耿介	「あかるい娘」平岩弓枝著「父の詫び状」向田邦子著ほか9冊
針布読書会	第3木曜日 午後 神代分館 13人	—————	「私の昭和史」加藤周一著 「ながい旅」大岡昇平著ほか9冊
清和読書会	第4木曜日 午前 富士見分館 6人	社会教育指導員 古田 耿介	「開化乗合馬車」杉本苑子著 「海人の舟」近藤啓太郎著ほか9冊
つくし読書会	第3火曜日 午後 親交会館 8人	社会教育指導員 林 一夫	「テレーズ・デスケール」モーリャック著 「能の表現」増田正造著ほか9冊
読書会夜行列車	第3水曜日 夜間 中央館 10人	—————	「狂人日記」色川武大著 「輝ける闇」開高健著ほか10冊
読書を楽しむ会	第2金曜日 午前 山一證券 13人	—————	「焚火」大岡昇平著「三人姉妹」 チェーホフ著ほか10冊
白鳥読書会	第1木曜日 午前 神代分館 11人	社会教育指導員 古田 耿介	「或る小倉日記伝」松本清張著 「白い人」遠藤周作著ほか9冊
ひとむれを読む会	第1土曜日 午後 会員宅 8人	職 員	谷昌恒著「ひとむれ」を読み、子どもに対する教育を探った。
ふたば読書会	第4水曜日 午前 若葉分館 19人	社会教育指導員 古田 耿介	「風の盆恋歌」高橋治著「出家と その弟子」倉田百三著ほか8冊
芙蓉読書会	第2土曜日 午前 国領分館 12人	社会教育指導員 古田 耿介	「由照」李良枝著「ここ過ぎて」 瀬戸内晴美著ほか9冊
緑ヶ丘読書会	第4水曜日 午前 緑ヶ丘分館 6人	社会教育指導員 林 一夫	「12本の毒矢」L・ジュフリー・アーチャー 著「脂肪の塊」モーパッサン著ほか9冊
宮の下読書会	第2火曜日 午前 宮の下分館 8人	社会教育指導員 林 一夫	「愛撫」梶井基次郎著「陽はまた 昇る」ヘミングウェイ著ほか9冊

名作読書会	第2金曜日 午前 公民館ほか 14人	社会教育指導員 林 一夫	「モンマルトルの空の月」中川 一政著「舞姫」森鷗外著ほか10冊
やまなみ読書会	第1火曜日 午前 深大寺分館 7人	社会教育指導員 古田 耿介	「炎環」永井道子著「銀の匙」 中勘助著ほか9冊
若菜読書会	第1・3水曜日午後 若菜分館 13人	—————	「源氏物語」を年間のテキストに 選び、学習会を実施。

(4) 研究グループ

サークル名	定例会・会場・会員数	講師	内容
赤彦・茂吉を 読む会	第3木曜日 午後 横浜銀行ほか17人	歌人 宮地 伸一	「ともしび」「連山」などの作品によ って、茂吉の心の世界を探った。
江戸庶民文化を 学ぶ会	第2水曜日 午前 福祉センター43人	早稲田大学教授 興津 要	江戸庶民の四季を通じた日常生活 の文化・文芸・芸能を探った。
近代史を学ぶ会	第2火曜日 午前 福祉センター12人	高崎短大講師 萩原 祥三	近代史を明治維新から学習して、 日本の思想について考えた。
現代作家を学ぶ会	第4火曜日 午後 福祉センター26人	大東文化大学教授 渡辺 澄子	「シングル・セル」増田みず子著 ほか、現代作家の作品を学習した。
紅樓夢を読む会	第1・3木曜日午後 佐須分館 10人	—————	「紅樓夢」のもつ面白さを、より 深く理解し、鑑賞した。
正法眼蔵随聞記 を読む会	第3水曜日 午後 東洋信託銀行28人	東京女子大学教授 水野弥穂子	生活の規範となる道元禅師の教え を学習した。
聖書を読む会	第4水曜日 午前 福祉センター19人	元立教女学院教授 赤司 道雄	マタイ伝、ルカ伝、マルコ伝を読 み、聖書の教えを学習した。
枕草子を読む会	第4日曜日 午前 公民館ほか 17人	国文学者・歌人 片山 貞美	枕草子の解釈を通して、平安朝文 学について学習した。
万葉集を読む会	第3土曜日 午後 第百生命ほか22人	国文学者・歌人 片山 貞美	万葉集を読むことで、古典文学の 持つ深さを学習した。
民俗学入門の会	第1水曜日 午前 福祉センター21人	日本民俗学会会員 菊地 正	日本人の身近な生活に関わりをも つ伝承から民俗学を学習した。
朗読奉仕語りの会	第2・4水曜日夜間 市民センター5人	—————	目の不自由な人のための朗読テー プの作成と技術を学習した。
論語を読む会	第4木曜日 午前 福祉センター23人	職員	世界的な古典である「論語」の素 読と解釈について学習した。

(5) 創作グループ

サークル名	定例会・会場・会員数	講師	内容
随想を書く会	第3土曜日 午前 神代分館 23人	社会教育指導員 林 一夫	文集「扉」5・6号の合評と、創 作について学習した。
たきおん	第2日曜日 午後 福祉センター17人	社会教育指導員 林 一夫	文芸作品を創作し、文芸誌「たき おん」を発行した。
童話創作の会	第3金曜日 午前 福祉センター6人	児童文学者 西本 鶏介	個々に童話を創作・発表し、その 作品について合評した。
みちくさ	第3木曜日 午前 深大寺分館 8人	職員	小説・短歌などの創作と合評を行 い、創作技術を探った。

(6) 俳句・短歌グループ

サークル名	定例会・会場・会員数	講師	
火曜句会	第2火曜日 午後 神代分館 19人	俳人	緒方 栞葉
煌ら句会	第3金曜日 午後 公民館 25人		職員
金曜句会	第2金曜日 午後 公民館 14人	俳人	原田走日朗
合同句会	第4土曜日 午後 福祉センター 30人	俳人	斎藤 杏子
水曜句会	第4水曜日 午後 若菜分館 20人	俳人	丹生谷百合
たづくり句会	第3木曜日 午後 市民センター 18人	俳人	原田走日朗
7(にすい)句会	第2水曜日 午後 公民館 14人	俳人	下川 紀水
二木句会	第2木曜日 午後 市民センター 27人		職員
風舎句会	第2土曜日 午後 市民センター 20人	俳人	若月 瑞峰
みずき句会	第2金曜日 午後 横浜銀行 14人		職員
木曜句会	第1木曜日 午後 太平信用金庫 14人	俳人	斎藤 徳次
からすうり歌会	第2月曜日 午後 会員宅 15人		会員
水嶺歌会	第3金曜日 午後 公民館 21人	国文学者・歌人	片山 貞美
潮流歌会	第4日曜日 午前 福祉センター 21人	歌人	宮地 伸一
福寿草歌会	第3金曜日 午前 神代分館 12人		職員
三日月歌会	第4水曜日 午後 福祉センター 22人	歌人	来嶋 靖生
径歌会	第4日曜日 午後 福祉センター 18人	国文学者・歌人	片山 貞美

(7) 絵画グループ

サークル名	定例日・会場・会員数	内 容	講 師
彩 雅 会	第1・3火曜日 午前 福祉センター 10人	日 本 画	画家 田中與之子
彩 耀 会	第1・3火曜日 午後 福祉センター 11人	〃	画家 田中與之子
朱 彩 会	第1・3土曜日 午前 福祉センター 11人	〃	画家 田中與之子
碧 彩 会	第1・3土曜日 午後 福祉センター 13人	〃	画家 田中與之子

(8) 放送番組で学習するサークル

サークル名	定例日・会場・会員数	内 容
古典講読の会	第2木曜日 午前 公民館 9人	ラジオ放送番組「古典講読」の源氏物語、枕草子を読み、古典文学の理解を深めた。 指導 会 員

(9) 文学散歩同好会

回次	期日・場所・参加者	内 容	講 師
318	4月11日 牛久市 50人	柳田國男・一茶の利根町布川と「牛久沼のほとり」の住井すゑ、小川幸銭記念館	作家 住井 すゑ 利根町郷土資料館長 芦原 修二
319	5月16日 文京区 42人	鷗外の「雁」、漱石の「三四郎」の無縁坂と啄木・一葉の本郷と鏡花の湯島天神	文京区文化財調査員 戸畑 忠政
320	5月29日~30日 福島県 40人	芭蕉の「奥の細道」、子規の福島飯坂と光太郎の「智恵子抄」と中山義秀の二本松	二本松市立図書館長 菅野 嘉久 福島市社会教育課長 太田 隆夫
321	6月9日 府中市 41人	多磨霊園に眠る吉川英治・岡本かの子・有島武郎・中島敦を訪ねる	白百合女子大学講師 大内寿恵磨
322	7月4日 長野県 49人	「落葉松」の白秋・武郎・犀星の軽井沢と堀辰雄の「風立ちぬ」の追分と浅間山	高原文庫事務局長 大藤 敏行
323	7月13日 台東区 40人	浅草東禅寺の江戸六地藏と平賀源内・宝井其角の奥州街道	浅草文庫職員 小木曾淑子
324	8月29日 国分寺市41人	黒井千次の「春の道標」の武蔵国分寺跡とお鷹の道	国分寺市史蹟調査員 上敷領 久
325	9月13日 足立区 46人	芭蕉の西新井大師と広重の東岳寺、河村瑞軒・塩原太助の東陽寺	詩 人 安藤 義雄

326	9月25日~26日 滋賀県 43人	芭蕉の「幻住庵記」と龍ヶ岡俳人墓地、漱石の「虞美人草」・丸条武子・貫之の比叡山	元三大師堂住職 山田 能裕
327	10月11日 板橋区 28人	中山道板橋宿と大木戸跡、新撰組の近藤勇・土方歳三の墓碑	板橋区文化財調査員 小花波平六
328	10月31日 箱根町 42人	茂吉、露伴、文六の「箱根山」、芦の湖、由紀夫の「暁の寺」、康成・新田次郎の御殿場	箱根町文化財調査員 勝俣 孝一
329	11月9日 豊島区 38人	羽仁もと子の自由学園と漱石・八雲・荷風・夢二・鏡花の雑司ヶ谷墓地	豊島区文化財調査委員 伊藤 栄洪
330	11月27日~28日 新潟県 39人	初冬の越後路、鈴木牧之の「北越雪譜」、康成の「雪国」、荘八の小出と終二の堀之内	小出町立公民館長 市川 靖 堀之内町立図書館長 柳沢 薫
331	12月13日 港区 54人	東海道の高輪大木戸跡と義士の泉岳寺、大名墓の東禅寺	港区文化財調査員 俵 元昭
332	1月9日 鎌倉市 51人	「真白き富士の峰」の遭難哀歌の稲村ヶ崎と西田幾多郎歌碑の七里ヶ浜	鎌倉文学館副館長 鹿見島達雄
333	1月30日 埼玉県 41人	「奥の細道」と三好達治・楳野の春日部と平田篤胤・土井晩翠・野口富士男の越谷	春日部市市史編纂室長 須賀 芳郎
334	3月5日~6日 静岡県 41人	西伊豆の「草の花」の武彦、赤彦と牧水の「伊豆紀行」、芹沢光治良・井上靖の沼津	土肥町教育長 勝呂 弘 沼津市市史担当 益田 實
335	3月30日 新宿区 40人	甲州街道の六地藏の太宗寺、四谷大木戸跡と新宿御苑	新宿区文化財調査委員 高橋 清輔



第18回図書館まつり
講演会 若月俊一氏

5 地域文庫

現在市内で活動している文庫は、ばたぼん文庫(代表・大柴悠子)、たんぼぼ文庫(代表・山崎瑞江)の2文庫である。図書館からは、主に団体貸出をして協力している。分館整備にともない次第に文庫数が少なくなってきたが、子どもの読書に関心をもつ市民のパワーを図書館としてどう活かしていくかが、今後の課題である。



おはなし会風景



新春座談会 江國 滋氏



16ミリ発声映写機操作認定講習会

IX 視聴覚ライブラリー

視聴覚教育活動の普及と視聴覚ライブラリーの利用促進を図るため、教材・機材を整備し、次の事業を実施した。

ニューメディアであるビデオは、近年、一般家庭にまで普及してきている。その状況に対応するためビデオ機器を整備し、教材については、図書館事業である講演会の記録テープを作成した。また、市販テープの収集にも着手した。

1 事業

(1) 16ミリ発声映写機操作認定講習会

映写機の基礎的な構造の理解と操作技術の修得に重点をおいて、フィルムの取扱いや映写会の安全運営についても理解を深めるために講習会を実施し、市内各地域での視聴覚教育活動の普及と安全な映画会の開催に役立てた。

期 日 第1回 5月27日 午後1時～午後9時
5月28日 午前9時～午後5時

第2回 6月28日～6月30日 午前9時～午後3時

修了者 52人

(2) 16ミリ発声映写機検定

16ミリ映写機及びフィルムの安全利用のため、小・中学校、市内事業所等の保有する16ミリ映写機の機能等の検定を行った。また、この検定は年1回であるが、新規購入分の映写機については随時実施した。

期 日 7月5日～7月7日

検定台数 85台

(3) 16ミリフィルム試写と研修会

テーマを決めて当ライブラリーの所蔵フィルムや試写フィルムを上映し、映画会のフィルム選定に役立つ内容とした。同時に操作技術修得者を対象とする映写機操作の実習を実施し、フィルムと機材の安全利用の徹底を図った。また、教材、機材の利用案内と情報交換も積極的に実施した。

(4) 地域における映画会の指導・援助

映画会の開催、フィルムの選定に関する相談等、地域の視聴覚活動の窓口として地域映画会の援助、育成を行った。さらに、研修会等を通じて映写機の安全操作、実際の映画会場の管理を指導し、映画会の開催に関する幅広い知識の普及に努めた。

(5) 都立多摩社会教育会館からの16ミリフィルムの配送

東京都立多摩社会教育会館では、市町村の利用団体の便宜を図るため、各市町村を貸出窓口

として、会館所蔵の16ミリフィルム(約2,100本)の配送サービスを行っている。当ライブラリーでも平成元年4月より配送を受けられるようになり、6月から実際に利用されるようになった。

2 視聴覚教材・機材の利用状況

平成元年度月別視聴覚教材・機材貸出数(表Ⅱ-1)

教材・機材	月												計	保有数 (2.3.31現在)
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
16ミリフィルム	22	57	41 [2]	89 [3]	74 [3]	55 [3]	51 [10]	39	70 [1]	42 [1]	64	44 [2]	648 [25]	333
16ミリ映写機	6	4	10	20	24	5	12	14	16	8	9	11	139	10
スライドフィルム	0	0	0	3	1	0	0	1	2	0	0	0	7	261
スライド映写機	2	0	2	8	1	5	8	6	2	2	3	2	41	7
8ミリ映写機	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	4
オーバーヘッドプロジェクター (OHP)	2	0	0	0	0	0	2	1	1	0	1	1	8	3
スクリーン	1	1	4	6	8	4	5	6	4	2	6	5	52	12
暗幕	2	0	0	4	1	0	1	1	11	7	0	3	30	6
拡声装置	3	0	1	2	1	2	2	2	1	2	0	1	17	2
テープレコーダー	4	1	6	6	0	7	5	5	5	4	6	4	53	3

[]内は都立多摩社会教育会館配送フィルム

平成元年度視聴覚教材・機材貸出団体別利用者数(表Ⅱ-2)

団体別	月												計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
官公署	68	8	560	334	743	459	397	290	74	259	485	243	3,920
図書館	234	245	369	614	483	663	370	619	953	304	1,294	291	6,439
幼稚園	0	0	256	1,565	850	258	580	252	999	415	1,343	250	6,769
保育園	55	0	65	230	53	20	111	98	81	105	134	203	1,155
児童館	493	0	744	674	173	1,093	696	740	1,294	672	642	525	7,746
小学校	0	0	67	0	471	254	252	0	235	0	0	136	1,415
中学校	0	0	0	346	0	96	330	0	0	0	0	334	1,106
高校・大学他	0	0	0	0	0	500	149	219	0	0	0	0	868
社会教育団体	0	130	442	191	270	0	534	0	55	70	66	68	1,826
福祉関係団体	0	0	81	0	129	0	0	49	100	120	15	0	494
地域団体	0	0	93	264	150	113	488	93	200	0	12	26	1,439
その他	140	155	398	77	637	81	81	587	110	35	369	453	3,123
計	990	538	3,075	4,296	3,959	3,537	3,988	2,947	4,101	1,980	4,360	2,529	36,300

平成元年度団体別16ミリフィルム貸出数(表Ⅱ-3)

(上段は件数、下段はフィルム数)

団体	月												計	
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
官公署	2	2	4	2	3	3	2	0	1	1	4	1	25 [1]	
	3	2	5	2	11	6	3	0	1	1	8	1	43 [2]	
図書館	2	7	1	6	9	2	1	3	10	1	3	4	49	
	5	7	1	10	18	2	1	4	12	1	3	6	70	
幼稚園	0	1	1	10	2	2	3	1	5	3	5	1	34	
	0	2	2	26	4	4	8	2	11	9	12	4	84	
保育園	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	13	
	2	0	1	1	3	1	3	2	2	3	5	5	28	
児童館	7	13	14	13	3	17	9	10	14	12	13	8	133 [8]	
	11	20	25	24	4	33	17	19	25	21	24	15	238 [15]	
小学校	0	4	1	1	4	2	2	0	3	0	0	2	19 [1]	
	0	18	1	3	6	4	3	0	5	0	0	2	42 [1]	
中学校	0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	1	4 [1]	
	0	0	0	2	0	3	0	0	0	0	0	2	7 [1]	
高校・大学他	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2	
	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	6	
社会教育団体	0	2	0	2	2	0	3	0	2	1	1	2	15 [3]	
	0	5	0	8	4	0	6	0	3	4	3	4	37 [5]	
福祉関係団体	0	0	2	0	2	0	0	1	1	0	1	0	7	
	0	0	3	0	3	0	0	2	1	0	1	0	10	
地域団体	0	0	1	2	0	1	3	2	0	0	0	1	10	
	0	0	1	4	0	1	9	2	0	0	0	3	20	
その他	1	3	1	2	8	1	1	2	2	1	4	2	28 [1]	
	1	3	2	9	21	1	1	2	10	3	8	2	63 [1]	
計	件数	13	32	26	41	34	30	25	22	39	20	33	24	339 [15]
	フィルム数	22	57	41	89	74	55	51	39	70	42	64	44	648 [25]

[]内は都立多摩社会教育会館配送フィルム

年度別視聴覚教材・機材保有数及び貸出数 (表Ⅸ-4)
(上段は利用数、下段は保有数)

年度	S 48	49	50	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	H 1
16ミリフィルム	315	205	313	369	438	406	435	572	556	556	554	518	585	648 (25)
	75	94	122	178	194	207	218	234	244	256	274	291	315	333
16ミリ映写機	255	187	225	183	218	234	219	223	185	195	146	140	141	139
	5	5	6	7	8	8	8	9	9	10	10	10	10	10
スライドフィルム	158	42	86	53	32	19	25	25	72	27	20	17	45	7
			261	261	261	261	261	261	261	261	261	261	261	261
スライド映写機	70	26	64	52	69	39	40	39	40	39	24	37	49	41
	4	4	4	4	4	4	4	4	7	7	7	7	8	7
8ミリ映写機	29	22	20	10	16	17	33	16	5	5	3	3	5	2
	3	3	3	4	4	4	4	4	5	4	4	4	4	4
オーバーヘッド プロジェクター		10	6	3	3	1	10	12	21	19	8	14	15	8
		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3

[] 内は都立多摩社会教育会館配送フィルム

年度別視聴覚教材・機材貸出数 (図Ⅸ-1)



X 将来計画と新中央図書館構想

調布市立図書館は、開館以来、図書資料や事業をとおして市民生活の中に根をおろし、生涯教育をはじめ、様々な文化活動の場として定着している。社会教育施設の中でも利用率の高い施設の一つにあげられる。

それは、市民の図書館に対する期待が大きいということでもあり、それだけに図書館は市民の求めるものを的確にとらえて、時代に即応したサービスを提供していかなければならない。

現在、図書館では、市民のニーズを基本にして、蔵書の充実、施設の整備、新中央図書館建設などの計画を推進している。

特に新中央図書館は、市民の要望も多く、図書館機能のレベルアップ、そして単に図書館一施設だけの問題ではなく、市の社会教育行政の充実、市民文化の向上という点からも早期完成が望まれる。

今後の課題としては、基本計画に掲げられている計画をさらにおし進めるとともに、図書館の利用圏や市民の生活動線を再検討した分館体制の見直し、さらに、開館以来の歴史と活動の実績を貴重な財産としながらも、常に新鮮な目で図書館活動を見つめ、市民の要求に応えられる図書館づくりが必要である。

なお、新中央図書館は現在、次のテーマを基本理念として計画が進められている複合施設(仮称・市民文化プラザ)の一環として構想されている。

- 1 学習活動の場づくり
新しく学習すべき内容が次々出現する時代にあって、「どこでも、だれでも、いつでも学べる」生涯学習の推進拠点とする。
- 2 文化活動の場づくり
地域の歴史や風土に根ざした個性的で特色のある調布文化の創造拠点とする。
- 3 ふれあいの場づくり
文化的豊かさを求める傾向は今後一層強まることから、文化活動を通じた人のふれあいから新しいコミュニティが形成される場とする。
- 4 健康増進の場づくり
より健康でありたいという市民のニーズの高まりの中で、乳幼児期から高齢期までの年齢に応じた保健事業を展開する場とする。
- 5 憩いのひろばづくり
市民に親しまれ、いつでも気軽に利用できる、市民の自由な憩いのひろばとする。
- 6 情報基地づくり
行政サービスや市民文化の向上を図るため、高度な情報機能を取りいれながら、行政及

び市民が相互に情報の提供や利用を行える情報システムを構築するなど、地域の情報化を進める拠点として構想する。

7 国際交流の場づくり

広く世界の人々と交流し、世界各国の様々な文化に対する認識を深めることにより、国際性を養い、また同時代にそれぞれの文化圏で生きる人々を理解することにより、国際平和と親善に寄与する場として構想する。

新中央図書館計画案の概要は次のとおりである。今後、複合施設の中で全体の調和を図りながら決定されることになる。

1 施設の機能及び基本的性格

25万冊の蔵書を持ち、市内10ヶ所の分館を有機的に結び、資料、調査、運営等にわたって図書館システムの総合調整機能を果たす中央図書館とする。

また、各種情報資料及びコンピューターによるデータベースの活用を図る等、先端技術を駆使して多様な情報提供サービスを展開する。市民の情報センターとしての性格を持つものとする。

2 各スペースの計画

(1) 4階 1,200㎡ 収容人員 600人

(ア) 一般開架室 900㎡

構成

図書 10万冊
新聞・雑誌コーナー 500誌 40席
資料閲覧コーナー 50席

(イ) 児童室 300㎡

構成

図書 2万冊
児童用閲覧コーナー 46席

(2) 5階 1,030㎡ 収容人員 300人

(ア) レファレンス室 550㎡

構成

図書 1万冊
資料閲覧コーナー 52席
レファレンスグループ学習室 16席

(イ) 特殊コレクション室 150㎡

全国レベルでの映画関係資料その他の資料の収集を図り、展示スペースを設

けて公開する。

映画関係資料

新編組関係資料

市内在住著名人著作資料

(ウ) おはなし室 50㎡

(エ) 朗読・点訳コーナー 160㎡

構成

資料閲覧コーナー 8席

対面朗読室 2室

録音室 2室

(オ) 読書会室 60㎡×2 2室

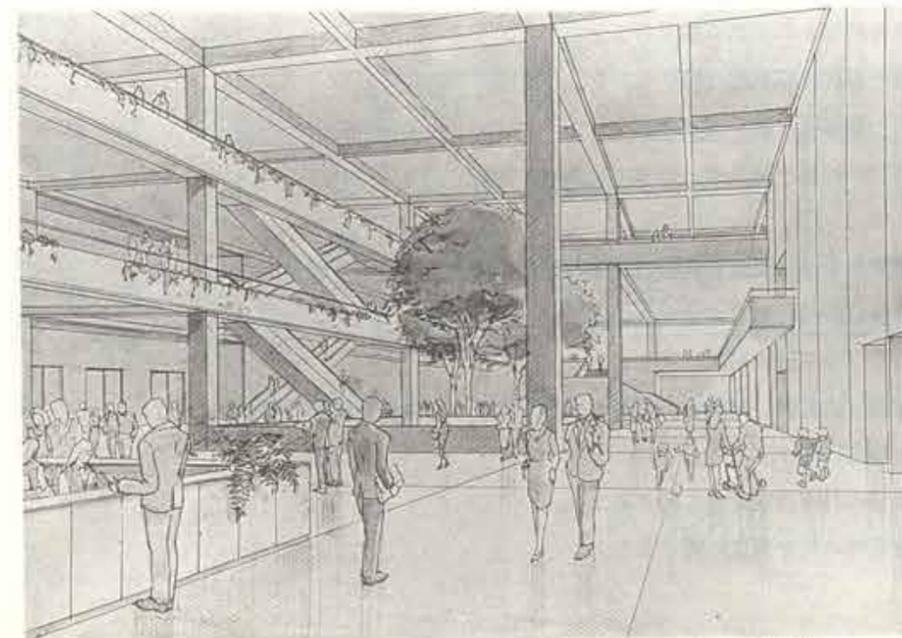
(3) 6階 1,020㎡

(ア) 学習室 170㎡ 100席

学習するスペースとしての目的を持ち、6階の静かなフロアに設け、自然光を取り入れるとともに、外部からも中が見えるように配置する。

(イ) 書庫 500㎡

閉架書庫は、開架スペースに収容できない貴重書等の資料10万冊を保管するとともに、5年分の雑誌のバックナンバー、新聞、逐次刊行物等を収容する。



(仮称) 市民文化プラザ 基本計画段階でのエントランスホール概観図

XI 資料

1 運営組織

調布市立図書館の運営は、次に掲げる調布市の条例・規則によって定められている。さらに、条例等に基づいて、規程や要綱が設けられており、日常の図書館活動を管理、運営している。

- (1) 調布市立図書館設置条例（昭和41年3月30日条例第10号）
- (2) 調布市立図書館館則（昭和41年3月30日教育委員会規則第1号）
- (3) 調布市立図書館処務規程（昭和41年3月30日教育委員会規程第1号）
- (4) 調布市立視聴覚ライブラリー運営要綱（昭和41年11月1日教育委員会要綱）
- (5) 調布市立図書館録音テープ図書貸出要綱（昭和41年11月1日教育委員会要綱第3号）
- (6) 調布市立図書館集會室使用基準（昭和41年11月1日教育委員会基準）
- (7) 調布市立図書館協力員の設置および勤務に関する内規（昭和50年4月1日教育委員会内規）

2 分掌事務

庶務係

- (1) 公印の保管に関する事。
- (2) 文書の收受、発送に関する事。
- (3) 施設、設備の維持管理に関する事。
- (4) 企画運営統計及び調査に関する事。
- (5) 関係各機関との連絡に関する事。
- (6) 予算の編成及び執行に関する事。
- (7) 館内の取締りに関する事。
- (8) その他、他係に属さない事項に関する事。

図書係

- (1) 図書資料並びに視聴覚資料の収集、整理、保管及び利用に関する事。
- (2) 製本及び資料の修理に関する事。
- (3) 読書案内及び読書相談に関する事。
- (4) 読書会、研究会、講演会、映写会、鑑賞会等の開催及び奨励に関する事。
- (5) 郷土資料に関する事。
- (6) 図書室の利用及び管理に関する事。
- (7) 図書資料の相互貸借に関する事。

3 開館日と休館日

館別	開館時間	休館日
中央館	日・水・木・金曜日 10時30分～17時30分	月曜日 第3日曜日 第4日曜日
	火・土曜日 10時30分～19時00分	
分館	毎日 13時00分～17時00分	
	ただし若葉分館 10時30分～17時00分 は日曜日のみ	

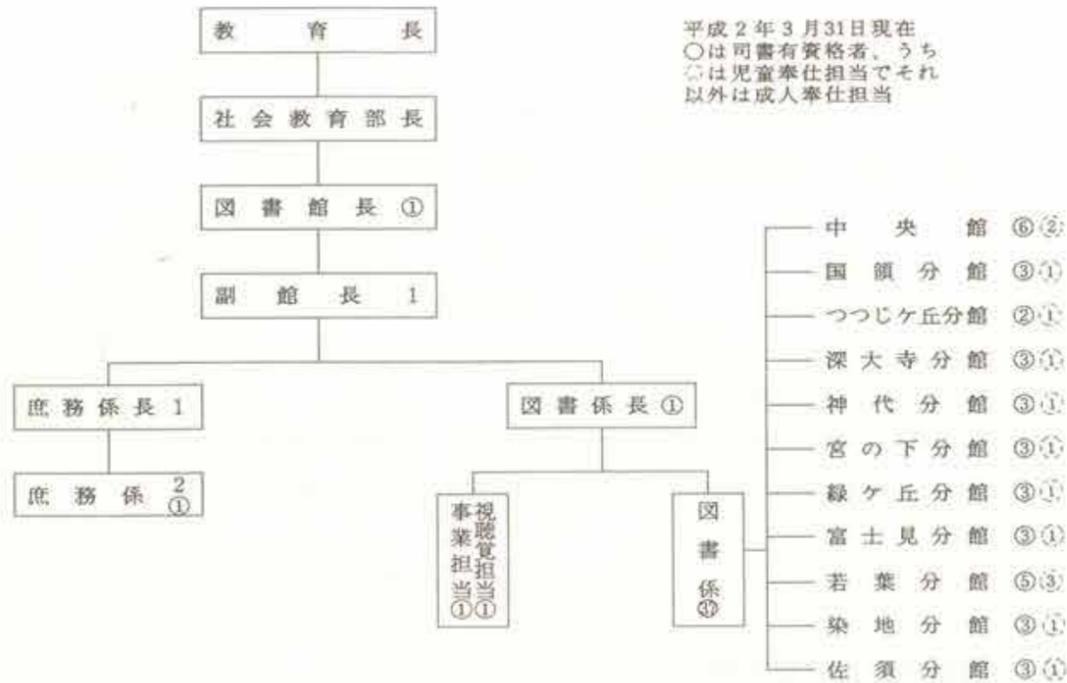
- 休館日はこのほかに、国民の祝日（この日が月曜日の場合は翌日）
 年末年始
 臨時休館（その都度お知らせする）

4 開館日数と開館時間

平成元年度

館	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
		開館日数	開館時間	開館日数	開館時間	開館日数	開館時間	開館日数	開館時間	開館日数	開館時間	開館日数	開館時間	
開館日数	中央館	23	21	24	24	25	22	23	22	21	20	14	14	253
	若葉分館	23	3	0	0	25	22	23	22	21	20	21	24	204
	他の分館	23	19	17	24	25	22	23	22	21	20	21	24	261
開館時間	中央館	173	160.5	180	181.5	188.5	166	173	166	157.5	150.5	105.5	107	1,909
	若葉分館	102	14.5	0	0	107.5	95.5	102	95.5	91.5	87.5	89	103.5	888.5
	他各館 1月 当り	92	76	68	96	100	88	92	88	84	80	84	96	1,044
合計	828	684	612	864	900	792	828	792	756	720	756	864	9,396	
合計	開館日数	253	195	177	240	275	242	253	242	231	220	224	254	2,806
合計	開館時間	1103	859	792	1045.5	1196	1053.5	1103	1053.5	1005	958	950.5	1074.5	12193.5

5 組織図



平成2年3月31日現在
○は司書有資格者、うち
◎は児童奉仕担当でそれ
以外は成人奉仕担当

6 年度別職員数の推移

(数値は3月31日現在)

年度	館長	副館長	係長	事務職	中央館 司書	分館 司書	小計	名誉 館長	その他	合計
S41	(兼)1			2	2		5	1	1	7
42	1			2	4		7	1	1	9
43	1		1	2	4		8	1	2	11
44	1		2	2	4	2	11	1	2	14
45	1		2	2	4	4	13	1	2	16
46	1		1	2	4	8	16	1	2	19
47	1		1	4	5	10	21	1	3	25
48	1		1	4	6	10	22	1	4	27
49	1		1	5	5	18	30	1	6	37
50	1	1	1	6	5	20	34	1	8	43
51	1	1	1	6	6	20	35	1	7	43
52	1	1	2	5	6	22	37	1	6	44
53	1	1	2	5	6	23	38	1	8	47
54	1		2	5	6	24	38	1	8	47
55	1		2	5	6	27	41	1	8	50
56	1		2	5	6	27	41	1	7	49
57	1		3	3	7	30	44	1	7	52
58	1		3	3	7	31	45		8	53
59	1		3	3	7	31	45		8	53
60	1		3	3	8	31	46		8	54
61	1		3	3	8	31	46		8	54
62	1	1	2	3	8	31	46		8	54
63	1	1	1	3	8	31	45		9	54
H1	1	1	2	3	8	31	46		15	61

- その他とは、協力員、委託要員、嘱託、社会教育指導員。
- 事務、司書は職種別人数(管理職、係長を除く)。
- 係長は主査を含む。

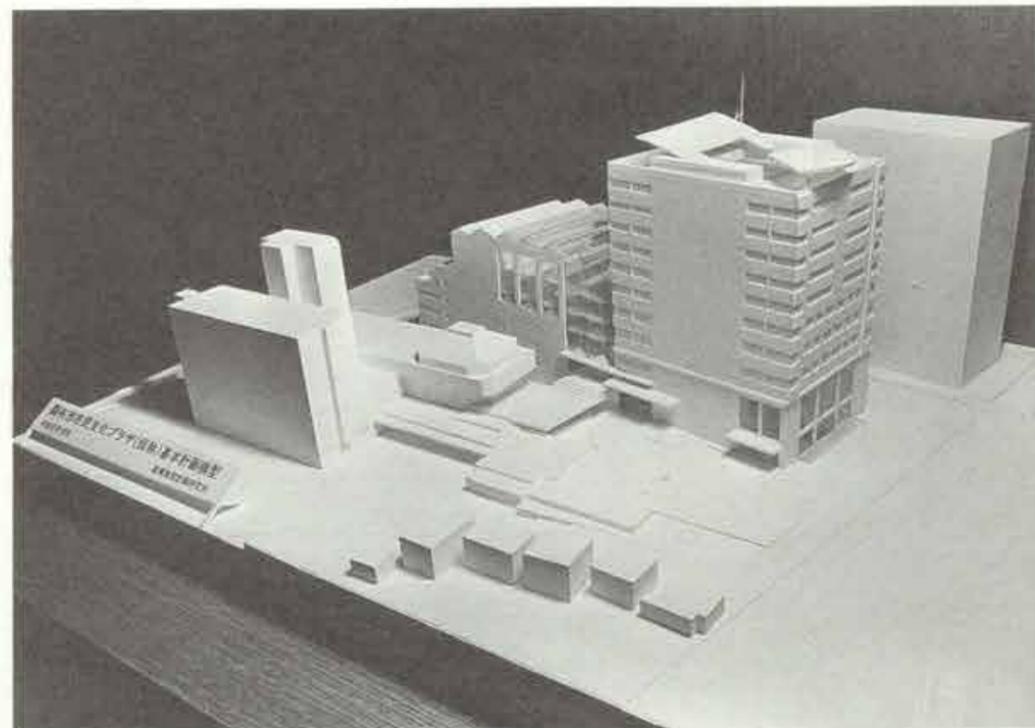
XII 年表

平成元年度のあゆみ

- 4/1 協力員8人委嘱
 - 6 朗読ボランティアの集い
 - 9 文芸講演会(保昌正夫氏)
 - 20 中央館 午前開館始まる
静岡県函南市より視察
 - 28 文芸講演会(澤木欣一氏)
- 5/6 協力員2人委嘱
 - 8 若葉分館、改修工事のため臨時休館(西野建設) ~ 7/31
(事務室は高架下保存庫に移転)
 - 12 杉並区立中央図書館より視察
 - 16 協力員2人委嘱
 - 26 朗読ボランティア講座(延14回) ~ 1/26
 - 27 16ミリ発声映写機操作認定講習会 ~ 5/28
 - 29 特別整理(曝書) つつじヶ丘、深大寺、神代、宮の下、緑ヶ丘 ~ 6/8
- 6/4 著者を囲む会(三田誠広氏)
 - 10 名画鑑賞会「名もなく貧しく美しく」
 - 17 座談会(平光淳之助氏)
 - 23 朝霞市立図書館・東村山市立図書館を視察
 - 28 16ミリ発声映写機操作認定講習会 ~ 6/30
- 7/1 文化講演会(天沢退二郎氏)
 - 7 名画鑑賞会「おはん」
 - 8 文芸講演会(山下一海氏)
 - 18 福生市立図書館より視察
- 8/9 座談会(杉山義法氏)
 - 22 水木しげる原画展 ~ 9/10
- 9/2 講演会(嶋村幸治郎氏)
 - 6 芦屋市議会より視察
 - 8 墨田区立あづま図書館を視察
 - 9 名画鑑賞会「月山」
 - 16 国際平和講演会(ブラティープ氏)

- 28 浦安市立図書館より視察
- 30 講演会 (谷昌恒氏)
図書館電算システム導入基本計画書(案)まとまる
- 10/1 調布便箋頒布
- 12 文芸講演会 (谷崎終平氏)
- 13 児童文学講座 (子どもの本に親しむ会) (延2回) ~10/27
いわき市立図書館より視察
- 20 調布カレンダー頒布
- 26 名画鑑賞会「父と子」
- 11/4 著者を囲む会 (黒井千次氏)
- 16 川崎市立図書館より視察
- 25 文化講演会 (北岡文雄氏)
- 12/1 協力員3名委嘱
- 6 名画鑑賞会「同胞」
- 10 文化講演会(やなせたかし氏)
- 1/13 新春座談会 (江國滋氏)
作家・評論家・芸術家などの年賀状展 ~1/28
- 24 三鷹市立第六中学校より視察
- 2/1 作家・評論家・芸術家などの筆蹟・横顔展 ~2/13
- 2 第18回図書館まつり ~3/9
文芸講演会 (河野多恵子氏)
- 3 時局講演会 (寺谷弘壬氏)
- 4 人形劇公演 (れもん座)
子ども映画会「ゼロ弾きのゴーシュ」
- 7 著者を囲む会 (常盤新平氏)
- 10 講演会 (若月俊一氏)
- 13 松原市議会より視察
- 14 座談会 (水木洋子氏)
- 16 名画鑑賞会「千利休」
- 18 中央館臨時休館 電算機導入準備作業と蔵書点検のため ~3/12
- 22 朗読の会 (金内吉男氏・南風洋子氏)
- 24 文芸講演会 (鈴木貞美氏)
- 3/9 児童文学講演会 (百々佑利子氏)

- 22 浜松市立図書館を視察
- 27 栃木県立図書館・宇都宮市立図書館を視察
出雲市立図書館より視察



(仮称)市民文化プラザ 基本計画段階での概念模型



調布市立図書館新館（平成2年9月竣工）

平成2年版
数字で見る図書館活動

平成2年9月30日 発行

編集・発行

調布市立図書館

数字で見る図書館活動編集委員会

〒182 調布市布田4-17-5

電話 0424(81)7661

印刷 柳林印刷

